

01ympicグループ iTERAN/AE 業務マニュアル【画面・詳細編】

【 第 1.2 版 】

2020年9月11日

画面一覧

1	メインメニュー	21	受領返品プルーフリスト出力画面
2	データ受信画面	22	受領データファイル出力画面
3	受注出荷業務メニュー	23	返品データファイル出力画面
4	受注一覧画面	24	請求業務メニュー
5	取引番号別数量訂正画面	25	請求予定作成画面
6	商品別数量訂正画面	26	請求データ出力画面
7	電話/FAX受注入力画面	27	マスタメンテナンスメニュー
8	受注データファイル出力画面	28	社マスタメンテ画面
9	プルーフリスト出力画面	29	利用会社マスタメンテ画面
10	ピッキングリスト出力画面	30	納品先マスター覧画面
11	納品リスト出力画面	31	納品先マスタメンテ画面
12	出荷確定画面	32	商品マスター覧画面
13	出荷確定データファイル出力画面	33	商品マスタメンテ画面
14	出荷送信画面	34	商品マスタファイル入力画面
15	受領返品業務メニュー	35	納品先マスタファイル入力画面
16	受領返品一覧画面	36	商品マスタファイル出力画面
17	受領明細画面	37	納品先マスタファイル出力画面
18	返品明細画面		

19 受領返品差異確認一覧画面

20 受領返品差異確認明細画面



画面名 データ受信

画面操作方法

◆データを受信する

①.受信と同時に出力する帳票を選択します ②.『受信開始』ボタンを押すことで受信が開始されます



画面操作方法

◆受注データを一覧画面で確認する

①.『対象期間』に表示対象の店舗納品日を入力します

- ② 『検索』ボタンを押すことで、「受注一覧」に指定した「対象期間」のデータが表示されます
- ③「受注一覧」に表示したデータを絞り込むには、「絞込条件」を指定します

④『詳細』ボタンを押すことで、取引番号別数量訂正画面を開きます

画面名 受注一覧画面							
機能一覧							
機能名称	機能説明						
閉じるボタン ※①メニューボタン	 ・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります 						
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・ 押下可能の状態						
検索ボタン ※①メニューボタン	・「②対象期間」の『店舗納品日』を条件に、「③絞込条件」内のコンボボックスを再作成、「④受注一覧」に該当データを表示します ※『検索』ボタン押下時に、「③絞込条件」内のコンボボックスに入力/選択されていた値をクリアします ※該当データが表示件数(14行)以上存在した時、「④受注一覧」にスクロールバーを表示します						
	初期表示状態 ・押下可能の状態						
対象期間 ※②対象期間	 ・『店舗納品日』の条件は、以下のような指定が可能です 1.「"~"の左にあるコンボボックス指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒ 左のコンボボックスで指定した値以降全てを検索対象とします 2.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス指定」 ⇒ 右のコンボボックスで指定した値以前全てを検索対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス指定」「"~"の右にあるコンボボックス指定」 ⇒ 左右のコンボボックスで指定した範囲内を検索対象とします 						
	初期表示状態 ・『店舗納品日』の左のテキストボックスにのみシステム日付を表示 ・『店舗納品日』テキストボックスが入力可能の状態 ・『検索』ボタン押下可能の状態						
絞込条件 ※③絞込条件	・「④受注一覧」に表示されたデータを絞込ます ※「④受注一覧」にデータが表示されている状態でのみ指定可能です ※各条件コンボボックスで選択した値全てをAND条件とし『受注一覧』の絞込を行いますが、各条件コンボボックスの絞込は行いません ※『店舗』は「店舗コード」、「直接納品先」は「直接納品先コード」、「取引先」は「取引先コード」を検索キーとして用います ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします						
	初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態						
受注一覧 ※④受注一覧	・「②対象期間」「③絞込条件」で指定した条件に該当するデータを表示します ・『詳細』ボタンを押下することで、取引番号別数量訂正画面を開きます ※取引番号別訂正画面での数量等訂正可否は、データの状況によって以下のように決定されます 状況 : 送信済 ⇒ 数量等訂正不可 未確定 ⇒ 数量等訂正可能 確定済 ⇒ 数量等訂正可能						
	初期表示状態 ・全項目データ非表示 						

画面名 受注-	-覧画面	
表示対象データ	当画面表示対象テ ・オンライン受信 ・電話受注入力 ・受注ファイルン	データは以下のデータになります 言した受注データ 」画面で作成した受注データ 入力で作成した受注データ
表示並び順	受注一覧 ※④受注一覧	店舗納品日[最終納品先納品日](降順)>発注日>取引先コード> 店舗コード[最終納品先コード]>直接納品先[直接納品先コード]>伝票番号[取引番号]
	店舗 ※③絞込条件	店舗コード[最終納品先コード](昇順)
	直接納品先 ※③絞込条件	直接納品先⊐ード(昇順)
	伝票番号 ※③絞込条件	伝票番号[取引番号](昇順)
	取引先 ※③絞込条件	取引先コード(昇順)
	状況 ※③絞込条件	「0:未確定」「1:確定済」「2:送信済」の順

画面名 一 受注一覧画面											
画面功	頁目内容										
No	表示	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	■ 最大桁 敷数	ī数 小数	表示形式		入	、力 チェック	- 備考
1	(2)対象期間	店舗納品日(左)	最終納品先納品日	日付	<u> </u>	小女	YYYYMMDD	入力	X	日付チェック	左右どちらか入力必須
2	② 対象 期間	店舗納品日(右)	最終納品先納品日	旧付	8		YYYYMMDD	入力	×	日付チェック	左右どちらか入力必須
3	③絞込条件	店舗	最終納品先コード/ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
4	③絞込条件	直接納品先	直接納品先コード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
5	③絞込条件	伝票番号	取引番号(発注·返品)	半角文字	10			入力/選択		半角数字のみ	
6	③絞込条件	取引先	┃取引先⊐ード/ ┃取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
7	③絞込条件	状況	 該当データの状況を「0:未確定」「1: 確定済」「2:送信済」で表示する	半角文字/ 全角文字				選択			以下に従い表示 0:未確定 1:確定済 2:送信済
8	④受注一覧	店舗納品日	最終納品先納品日	日付	8		YYYYMMDD	不可			
9	④受注一覧	発注日	発注日	日付	8		YYYYMMDD	不可			
10	④受注一覧	取引先	取引先⊐ード/ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
11	④受注一覧	店舗	最終納品先⊐ード/ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
12	④受注一覧	直接納品先	直接納品先⊐ード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
13	④受注一覧	伝票番号	取引番号(発注·返品)	半角文字	10			不可			
14	④受注一覧	原価金額合計	原価金額合計	数值	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
15	④受注一覧	売価金額合計	売価金額合計	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
16	④受注一覧	データ作成元	データ作成元	半角文字	1			選択			以下に従い表示 0:オンライン受信 1:電話受注画面作成 2:ファイル入力作成
17	④受注一覧	状況	該当データの状況を「0:未確定」「1: 確定済」「2:送信済」で表示する	全角文字				不可			以下に従い表示 0:未確定 1:確定済 2:送信済

取引番号別に数量等の訂正を行います

画面内容



画面操作方法

◆訂正後納品日、出荷数量等の訂正を行う

 ①『伝票番号』コンボボックスで訂正対象の伝票番号を入力・選択します もしくは、『次へ・前へ』ボタンを押し、訂正対象の取引番号を表示します
 ②『訂正後納品日』『出荷数量』等の訂正を行います
 ③.訂正が完了したら、『保存』ボタンを押すことで訂正を確定します

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ※[受注一覧]画面から遷移してきた場合は、当該画面を終了後、[受注一覧]画面に戻ります
	初期表示状態 ・ 押下可能の状態
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	・『出荷数量』等の訂正された値を保存します ※保存後は、該当の取引番号を選択した状態のままになっており、「④取引情報」「⑤取引明細情報」には該当のデータが表示された状態になります ※訂正したデータのピッキングリスト発行状態が『発行済』であった場合、訂正を保存することで、ピッキングリストの発行状態は『未発行』になります ※訂正したデータが『出荷確定済』だった場合、訂正を保存することで、『出荷未確定』の状態になります
	初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『出荷数量』等を訂正すると『保存』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
前ヘボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・『伝票番号』コンボボックス内の値で、表示されている伝票番号の一つ前の 伝票番号を表示し、「④取引情報」「⑤取引明細情報」に該当のデータを表示します
	初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『伝票番号』コンボボックスに表示されている伝票番号より小さい伝票番号が『伝票番号』コンボボックス内に存在する状態になると押下可能になります ※一つ前の伝票番号がない場合、『前へ』ボタンは押下不可の状態になります ※[受注一覧]画面から遷移してきた場合、押下不可の状態になります
次へボタン ※①メニューボタン ★F3ボタンで利用可能	・『伝票番号』コンボボックス内の値で、表示されている伝票番号の一つ後の 伝票番号を表示し、「④取引情報」「⑤取引明細情報」に該当のデータを表示します ※伝票番号が表示されていない時は、伝票番号コンボボックス内の一番上にある 伝票番号を表示し、「④取引情報」「⑤取引明細情報」に該当のデータを表示します
	初期表示状態 ・『伝票番号』コンボボックス内に値が存在しない時 ⇒ 押下不可の状態 ・『伝票番号』コンボボックス内に値が存在した時 ⇒ 押下可能の状態 ※『伝票番号』コンボボックスに表示されている伝票番号より小さい伝票番号が 『伝票番号』コンボボックス内に存在する状態になると、押下可能な状態になります ※一つ後の伝票番号がない場合、『次へ』ボタンは押下不可の状態になります ※[受注一覧]画面から遷移してきた場合、押下不可の状態になります

機能名称	機能説明
伝票番号コンボボックス ※②取引番号	・『伝票番号』コンボボックスに値を入力後「Enterキー」を押下、『伝票番号』コンボボックスから値を選択、もしくは、『次へ』『前へ』ボタンを押下することで、 該当のデータを「④取引情報」「⑤取引明細」に表示し、『出荷数量』が訂正可能な状態となります ※[受注一覧]画面から遷移してきて、表示対象データが送信済データだった場合、全てのデータは訂正不可の状態になります ※該当データが表示件数(6行)以上存在した時、「⑤取引明細」にスクロールバーを表示します
	初期表示状態 ・入力/選択可能の状態 ※[受注一覧]画面から遷移してきた場合、[受注一覧]画面で選択した取引番号を表示し、入力/選択不可の状態になります
伝票番号絞込条件 ※③絞込条件	・伝票番号絞込条件コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、『伝票番号』コンボボックスの絞込を行います ※『納品店舗』は「納品店舗コード」、『直接納品先』は「直接納品先コード」を検索キーとして用います ※各条件コンボボックスの選択と同時に『伝票番号』コンボボックスの絞込を行いますが、各条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします
	初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態 ※[受注一覧]画面から遷移してきた場合、選択不可の状態になります
取引情報 ※④取引情報	・入力・選択された伝票番号に該当する伝票ヘッダデータを表示します
	初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態
取引明細情報 ※⑤取引明細	・入力・選択された伝票番号に該当する伝票明細データを表示します ・出荷確定済データを表示した時、各項目を赤枠で囲み表示します
	初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態

画面名	取引番号別数量訂正画面

表示対象データ	当画面表示対象ラ ◆[受注一覧]画 ・オンライン ※「出荷確算 ※「出荷送信 ◆受注/出荷業 ・オンライン	データは以下のデータになります 回面から遷移してきた場合 受信した受注データ 主済」のデータ表示時には、「⑤取引明細情報」の各項目を赤枠で囲み表示します 言済」「電話受注作成」のデータ表示時は、情報を編集することはできません 読務メニューから遷移してきた場合 受信した受注データで、「出荷未確定」「出荷確定済」のデータ
表示並び順	伝票番号 ※②取引番号	伝票番号[取引番号](昇順)
	店舗納品日 ※③絞込条件	店舗納品日[最終納品先納品日](降順)
	店舗 ※③絞込条件	店舗コード[最終納品先コード](昇順)
	直接納品先 ※③絞込条件	直接納品先コード(昇順)
	取引先 ※③絞込条件	取引先コード(昇順)
	取引明細情報 ※⑤取引明細	行(昇順)

画面も	画面項目内容。										
N	表示			Ŧı	最大桁数		± = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	入力			
INO	グループ	ダイトル名	衣示内谷(BMS項日名)	<u>坐</u>	整数	小数	衣示形式	形式	必須	チェック	1佣 乞
1	②取引番号	伝票番号	取引番号	半角文字	10			入力/選択	0	半角数字のみ	
2	③絞込条件	店舗納品日	最終納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	選択			
			最終納品先コード/	半角文字/							
3	③絞込条件	占舗	最終納品先名称	全角文字	13/20			選択			
			直接納品先コード/	<u>半角文字</u> /							
4	③絞込条件	直接納品先	直接納品先名称	全角文字	13/20			選択			
_				<u>半月八</u> 半角文字/							
5	③絞込条件	取引先	取引先名称	1 月久月/ 全角文字	13/20			選択			
6	④取引情報	店鋪┐―ド		<u> 工月八</u>] 坐角文字	13			자리			
7	④取引情報	<u>心明</u> 了 店鋪夕	<u>最终就已失</u> 乏称	全角文字	20			자리			
2	小取引情報	<u>////</u> 直接幼只失っ_\゙		<u> 王 円 入 丁</u> 半 伯 文 空	12			자리			
0				<u> 十月入于</u> 今色文字	20			자리			
9		但按附加几石			20			카비			い下に従い出力
10	の取り性報	不宁曾反公	不宁君区公	半色立字				조코			以下に従い山刀
10	4442511月11	个正真应力			2			가비			00. 足貝
											01:个正貝
								$\tau =$			以下に促い山力
''	④取5川有報	納品栓路	州 而 栓 路	千円又子	2			个可			
											02:センター納品
		17	PT-1								以下に従い出力
12	④取引情報	便No	1便No	半角文字	2			个可			00:無指定
											01~03:1使~3使
13	④取引情報	発注者コート	発注者コード	半角文字	13			不可			
14	④取引情報	発注者名称	発注者名称	全角文字	20			不可			
15	④取引情報	支払法人コード	支払法人コード	半角文字	13			不可			
16	④取引情報	取引先コード	<u> 取引先コード</u>	半角文字	13			不可			
17	④取引情報	取引先名	取引先名称	全角文字	20			不可			
18	④取引情報	請求取引先コード	請求取引先コード	半角文字	13			不可			
19	④取引情報	請求取引先名称	<u>_請求取引先名称</u>	全角文字	20			不可			
20	④取引情報	DPTコード	商品分類(大)	半角文字	10			不可			
											以下に従い出力
											0:対象外
21	④取引情報	販促メッセージ区分	カテゴリー名称1(印字用)	全角文字	5			不可			1:上下組
											2:よりどり2点
											3:よりどり3点
22	④取引情報	発注日	発注日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
23	④取引情報	店舗納品日	最終納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
24	④取引情報	直接納品日	直接納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
25	④取引情報	訂正直接納品日	訂正後直接納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	入力	0	日付チェック	
									-		以下に従い出力
		立 口 页 八		w # * *							01:定番
26	④取引情報	冏品区分	問品区分	千円乂子	2			个			02:準特価(中目)
											03:特売(チラシ)
											以下に従い出力
	A - - - - - - - - - -										01·本部(計画)発注
27	④取引情報	発汪区分	発汪区分	半角文字	2			不可			02.店舗(追加)発注
											03:センター発注

Na	表示	カノト 川 夕	まテロ窓(PMC項日夕)	ŦI	日 最大桁	ī数	キテジザ		入	<u></u> л	—————————————————————————————————————
INO	ク゛ルーフ゜	ダイトル石	衣小内谷(DIVI3項日石)	<u> </u>	整数	小数	衣小形式	形式	必須	チェック	加行
28	④取引情報	伝票区分	処理種別	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:発注仕入
29	④取引情報	発注区分名称	ラベル自由使用欄半角カナ(印字用)	半角文字	60			不可			
30	④取引情報	税区分	税区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:原売価内税 03:非課税 05:原価外税売価外税
31	④取引情報	税率	税率	数值	2	1	Z9.9	不可			
32	④取引情報	修正文字	ラベル自由使用欄(印字用)	全角文字	60			不可			
33	④取引情報	タグサイズ区分	自由使用欄	全角文字	60			不可			以下に従い出力 0:なし 1:下げ札(大) 2:下げ札(小) 3:貼り札 4:他
34	④取引情報	値下ラベル区分	自由使用欄半角カナ	半角文字	60			不可			以下に従い出力 0:通常 1:値下げ
35	④取引情報	店舗略称	最終納品先略称(印字用)	全角文字	5			不可			
36	⑤明細切替	商品コード	商品コード(発注用)	半角文字	14			不可			
37	⑤明細切替	取引先商品コード	商品コード(取引先)	半角文字	14			不可			
38	⑤明細切替	取引先品番	規格	半角文字	25			不可			
39	⑤明細切替	商品名·規格	商品名	全角文字	25			不可			
40	⑤明細切替	行	取引明細番号(発注·返品)	半角文字	4			不可			
41	⑤明細切替	ラインコート	商品分類(小)	半角文字	10			不可			
42	⑤明細切替	クラスコート	商品分類(細)	半角文字	10			不可			
43	⑤明細切替	<u>カラー</u>	<u>カラー名称</u>	全角文字	20			不可			
44	<u>⑤明細切替</u>	サイズ	サイズ名称	全角文字	30			不可			
45	⑤明細切替	入数	<u> 発注単位</u>	数值	4	0	Z,ZZ9	不可			
46	<u>⑤明細切替</u>	出荷ケース数	出荷数量(発注単位数)	数值	6	0	ZZZ,ZZ9	不可			
47	<u>⑤明細切替</u>	発注数量	発注数量(バラ)	数值	6	1	ZZZ,ZZ9.9	<u></u>			
48	<u>⑤明細切替</u>	出荷数量	出荷数量(パラ)	数值	6	1	ZZZ,ZZ9.9	<u></u>	0	数値のみ	
49	⑤明細切替	欠品致重	欠品数重(パフ)	<u> </u>	6	1	ZZZ,ZZ9.9	个可			
50	⑤明細切替	欠品区分	欠品区分	半角文字	2			選択			以下に従い出力 00:欠品なし 11:マスタメンテミス(小売責) 12:発注ミス(小売責) 21:納入者品切(取引先責) 22:メーカ品切(取引先責)
51	⑤明細切替	原単価	原単価	数値	8	2	ZZ,ZZZ,ZZ9.Z9	不可			
52	⑤明細切替	売単価	売単価	数值	10	0	Z,ZZZ,ZZZ.ZZ9	不可			
53	⑤明細切替	出荷原価金額	出荷原価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
54	⑤明細切替	出荷売価金額	出荷売価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
				合計	表示						
55	⑤明細切替	数量合計	数量合計	数値	6		ZZZ,ZZ9	不可			
56	⑤明細切替	原価金額合計	原価金額合計	数值	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
57	⑤明細切替	売価金額合計	売価金額合計	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			

画面名 商品別数量訂正

商品別に数量等の訂正を行います

画面内容



画面名 商品別数量訂正

画面操作方法

◆出荷数量等の訂正を行う

①.『商品コード』コンボボックスで訂正対象の商品コードを入力・選択します
 ②.『出荷数量』等の訂正を行います
 ③.訂正が完了したら、『保存』ボタンを押すことで訂正を確定します

画面名 商品別数量訂正

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・ 押下可能の状態
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	・『出荷数量』等の訂正された値を保存します ・保存後は、『商品コード』コンボボックス、「④商品別一覧」をクリアします ※「②商品コード絞込条件」で選択していた値は保持します ※訂正したデータのピッキングリスト発行状態が『発行済』であった場合、訂正を保存することで、ピッキングリストの発行状態は『未発行』になります ※訂正したデータが『出荷確定済』だった場合、訂正を保存することで、訂正したデータのみが『出荷未確定』になります
	初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『出荷数量』等を訂正すると『保存』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
商品コードコンボボックス ※②発注者商品コード	・『商品コード』コンボボックスに値を入力後「Enterキー」を押下、もしくは『商品コード』コンボボックスから値を選択することで、 選択した商品コードに対応するデータを「④商品別一覧」に表示し、『出荷数量』等が訂正可能な状態になります
	初期表示状態 ・入力/選択可能の状態
商品⊐一ド絞込条件 ※③絞込条件	・商品コード絞込条件コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、『商品コード』コンボボックスの絞込を行います ※『店舗』は「店舗コード」、『直接納品先』は「直接納品先コード」を検索キーとして用います ※各条件コンボボックスの選択と同時に『商品コード』コンボボックスの絞込は行いますが、各条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード:名称」で重複判断を行います ただし、絞込処理は「コード」のみで行うため、選択した「コード:名称」のデータのみを表示することはできません
	初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態
商品別一覧 ※④商品別一覧	・入力・選択された商品コードに該当する伝票データを表示します ※出荷確定済データを表示した時、出荷確定済データのみを赤枠で囲み表示します
	初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態
設定ボタン ※⑤全行一括入力	・警告メッセージ表示後、全行の出荷数量を"0"に訂正します ※スクロールバーで表示可能なデータも訂正対象に含みます
	初期表示状態 ・押下不可な状態 ※「④商品別一覧」にデータが表示されると、『設定』ボタンが表示され、押下可能な状態になります

画面名 商品短	面名—— 商品別数量訂正							
表示対象データ	当画面表示対象テ ・オンライン受信 ※「出荷確定済	「ータは以下のデータになります 言した受注データで、「出荷未確定」「出荷確定済」のデータ 「」のデータ表示時には、「④商品別一覧」の各項目を赤枠で囲み表示します						
表示並び順	納品年月日 ※③絞込条件							
	納品店舗 ※③絞込条件							
	直接納品先 ※③絞込条件	直接納品先コード(昇順)						
	取引先 ※③絞込条件	取引先コード(昇順)						
	伝票番号 ※③絞込条件	伝票番号(昇順) 						
	商品別一覧 ※④商品別一覧	伝票番号>明ammassammassammassammassammassammassammassammassammassammassammassammassammassammassammassammassammassam 						

自動計算	出荷数量入力	出荷数量に値を入力/変更することで、以下の項目が自動的に計算され表示されます
	※⑤取引明細	≪画面表示項目≫
		・出荷ケース数=(出荷数量:発注単位)の小数部切上
		·欠品数量=発注数量-出荷数量
		※発注数量-出荷数量<0となる場合は、欠品数量=0とします
		・出荷原価金額=(出荷数量×原単価)の小数部切捨て
		・出荷売価金額=(出荷数量×売単価)の小数部切捨て
		・数量合計=出荷数量合計の小数部四捨五入
		•原価金額合計=出荷原価金額合計
		≪画面非表示項目≫
		・発注単位数量合計=発注単位数の合計
		•欠品数量(発注単位数)=発注数量(発注単位数)-出荷数量(発注単位数)
		×発注数量-出荷数量<0となる場合は、欠品数量(発注単位数)=0とします

画面	画面名商品別数量訂正										
画面耳	頁目内容										
No	表示	タイトルタ	表示内容(BMS項日名)	刑	最大権	ī数	表示形式		入	<u>ታ</u>	
110	ク゛ルーフ゜	У 11 70°Ц		±	整数	小数	五小市工	形式	必須	チェック	C2. HII
1	②発注商品	商品コード	商品コード(発注用)	半角文字	14			入力・選択	0	半角数値のみ 必須チェック	
2	③絞込条件	店舗納品日	最終納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	選択			
3	③絞込条件	店舗	最終納品先コード/ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
4	③絞込条件	直接納品先	直接納品先コード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
5	③絞込条件	取引先	取引先コード/取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
6	③絞込条件	伝票番号	取引番号(発注·返品)	<u>半角文字</u>	10			選択			
7	④商品一覧	取引先商品コート	商品コード(取引先)	半角文字	14			<u></u> 不可			
8	()商品一覧	取引先品番	<u> </u>	<u> 月八 </u> 半角文字	25			자리			
	4 商品一覧	商品名•相格	商品名	<u></u>	25						
10	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		10 11 10 10 10 10 10 10 10	<u>王内大丁</u> 全角文字	20						
11	1 3 向 1 1 5	ガノ サイブ	リカン 石小 サイズを称	<u>王内大于</u>	20			নান্য কন			
10		<u> </u>	171八日小 みけロ	<u>王内大丁</u> 半色立孛	30			্ <u>দ</u> ান্ কিন্			
12	<u>(4) 冏阳一見</u> (4) 帝日— 監	法注口 古拉纳口口	光/土口	<u> 十円入于</u> 半舟立空	0			<u> </u>			
1.0		但 按 剂 由 口 亡 纣 幼 日 口	目止後退後納血光約血口	<u> 十円入子</u> 半色立空	0			<u> </u>			
14	但問品一見		取於約前九約前口 取引生う ドイ	<u> 干角义子</u>	8		TTTTMMDD	个可			
15	④商品一覧	取引先	取51元コート╱ 取引先名称	半角文字	13/20			不可			
16	④商品一覧	店舗	最終納品先⊐ード/ 最終納品先名称	半角文字	13/20			不可			
17	④商品一覧	直接納品先	直接納品先⊐ード/ 直接納品先名称	半角文字	13/20			不可			
18	④商品一覧	伝票番号	取引番号	半角文字	10			不可			
19	④商品一覧	商品区分	商品区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:定番 02:準特価(中目) 03:特売(チラシ)
20	④商品一覧	発注区分	発注区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:本部(計画)発注 02:店舗(追加)発注 03:センター発注
21	④商品一覧	明細番号	取引明細番号(発注·返品)	半角文字	4			不可			
22	④商品一覧	DPTコード	商品分類(大)	半角文字	10			不可			
23	④商品一覧	ラインコート	商品分類(小)	半角文字	10			不可			
24	④商品一覧	原単価	原単価	数值	8	2	ZZ,ZZZ,ZZ9.Z9	不可			
25	④商品一覧	売単価	売単価	数值	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
	④商品一覧	クラスコート	商品分類(細)	半角文字	10			不可			
26	④商品一覧	入数	発注単位	数值	4	0	Z.ZZ9	不可			
27	④商品一覧	発注数量	発注数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ.ZZ9.9	不可			
28	4)商品一覧	欠品数量	欠品数量(バラ)	数值	6	1	ZZZ.779.9	- <u></u> - - - - - - - - - - - - -			
29	4)商品一覧		出荷数量(発注単位数)	数值	6	0	777 779				
30	④商品一覧	出荷数量	出荷数量(バラ)		6	1	ZZZ,ZZ9.9	<u>大方</u>	0	数値のみ	

31	④商品一覧	欠品区分	欠品区分	半角文字	2			選択	یا 0 1 1 2 2	以下に従い出力)0:欠品なし 1:マスタメンテミス(小売責) 2:発注ミス(小売責) 21:納入者品切(取引先責) 22:メーカ品切(取引先責)
32	④商品一覧	出荷原価金額	出荷原価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可		
33	④商品一覧	出荷売価金額	出荷売価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可		
34	④商品一覧	不定貫区分	不定貫区分	半角文字	2			不可	بر 0 0	以下に従い出力)0:定貫)1:不定貫
				合計	表示					
35	④商品一覧	数量合計	該当商品の数量合計	数値	6	0	ZZZ,ZZ9	不可		
36	④商品一覧	原価金額合計	該当商品の原価金額合計	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可		
37	⑤全行一括	全行の出荷数量を0に一 括で変更						不可		
				画面非君	長示項目					
38	画面非表示	売価金額合計	売価金額合計	数值	10	0		不可	化	呆存時に自動計算される
39	画面非表示	発注単位数量合計	発注単位数量合計	数值	6	0		不可	作	呆存時に自動計算される
40	画面非表示	欠品数量 (発注単位数)	欠品数量 (発注単位数)	数值	6	1		不可	f	保存時に自動計算される

内容 オンライン受注以外(電話、FA 受注データファイル入力にて) レイアウト 電話/FAX受注入力		
新規(F2) 支更(F3) 削除(F3) (②取引 (二 (二 (二 (二 (二 (二 (二 (日 取消(F9) 現分(F12)	①メニュー ボタン
4火51'債報版 社 50:Olympic 店 1001:テスト店舗 DPTコード 401 ※選択後、「商品コード/クラス」のリスト値 が選択されたDPTコードの商品となります 不定貫区分 01:不定貫 明細情報	 取引先 999000テスト取引先 ▼ 経由区分 3T/C ▼ 商品区分 01:定番 ▼ 経由センター 情報 経由センター 0101:テストセンター ▼ (101:テストセンター ▼ (101:テストセンター ▼ (11:1便 ▼ 発注区分 02:店舗(:追加)発注 ▼ 税区分 05.原価外税売価外 ▼ 	③取引情報
行 商品コート* // クラス 取引先商品コート* 1 0000000116 ▼ 1234567890116 ショウヒン /行入自加	商品名・型番・カラー 数量 原単価 売単価 原価金額 売価金額 削除 1 50.0 300.00 500 15,000 25,000 削除	④取引明細

画面名 電話/FAX受注入力

画面操作方法

◆新規作成する

①.『伝票番号』コンボボックスに手動で伝票番号を入力し『新規』ボタンを押すことで、「取引情報」「明細情報」欄がデータ入力可能な状態になります ②.「取引情報」の各項目を入力/選択します

- ③「明細情報」の『商品コード/クラス』を選択します(選択肢に該当商品が存在しない場合は手入力します)
- ④「明細情報」の『数量』を入力します(③で手入力した場合、『数量』以外の各項目も入力します)
- ⑤「明細情報」の一覧に1行追加する場合、『行追加』ボタンを押下し、1行追加した上で③~④を実施します ※1行削除したい場合は『削除』ボタンを押下します
- ⑥.入力が完了したら、『保存』ボタンを押すことで新規作成データを保存します

◆作成したデータを変更/削除する

- ①変更/削除対象の伝票番号を『伝票番号』コンボボックスに入力/選択します
- ②①で選択した伝票番号のデータを変更する場合は『変更』ボタンを、
- 削除する場合は『削除』ボタンを押下します
- ③②で『変更』ボタンを押下した時は、『出荷数量』等の訂正を行います
- また、行を削除する場合は、対象の行の『削除』ボタンを、行を追加する場合は『行追加』ボタンを押下します
- ④『保存』ボタンを押下し、「変更」「削除」を確定します

画面名 電話/FAX受注入ナ]
機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	 ・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態
新規ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	 ・手入力した伝票番号で電話受注データの新規作成を行います ■『伝票番号』コンボボックスに「伝票番号」を入力した状態で『新規』ボタンを押下した場合 入力された「伝票番号」が既に登録されていないかチェックを行います ※チェックOKだった場合、画面を下記の状態にし、新規作成が行えるようになります *チェックOKだった場合、画面を下記の状態にし、新規作成が行えるようになります ・『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『伝票番号』コンボボックスを入力/選択不可 ・「③取引情報」を入力/選択可 ・「④明細情報」を入力/選択可 *チェックNGだった場合、「入力した伝票番号は既に存在しているため、作成できません」とメッセージを表示し、初期画面に戻ります ※「伝票番号」を指定して新規作成を行った場合は、「自動採番マスタ」でチェックデジットを指定していたとしても、 チェックデジットは自動的には付与されません ■「伝票番号」コンボボックスが空の状態で『新規』ボタンを押下した場合 「伝票番号を入力してください」とメッセージ表示され、初期画面に戻ります 初期表示状態 ・押下可能な状態

機能名称	機能説明
変更ボタン	・[電話/FAX受注入力]画面にて作成したデータの変更を行います
※①メニューボタン	※[受注データファイル入力]画面にて入力したデータの変更は行えません
★F3ボタンで利用可能	■『伝票番号』コンボボックスに「伝票番号」を入力した状態で『変更』ボタンを押下した場合
	│ *入力された「伝票番号」が、[電話/FAX受注入力]画面にて作成したデータで、出荷未確定・確定済のデータが存在するかどうかのチェックを行います
	「伝票番号」のチェックOKだった場合、画面を下記状態にし、変更が行えるようになります
	・『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可
	・『保存』『取消』ボタンを押下可能
	・『伝票番号』コンボボックスを入力/選択不可
	・「③取引情報」を入力/選択可
	「④明細情報」を入力/選択可
	*入力された「伝票番号」が[受注データファイル入力]画面にて入力したデータだった場合、
	「受注データ入力画面で入力したデータの変更を行うことはできません」とメッセージ表示され、初期画面に戻ります
	*[電話/FAX受注入力]画面にて作成したデータで、出荷未確定・確定済のデータが存在しなかった場合、
	「入力・選択した伝票番号は存在しないため、変更処理は行えません」とメッセージ表示され、初期画面に戻ります
	┃ ■『伝票番号』コンボボックスが空の状態で『変更』ボタンを押下した場合
	「伝票番号を入力してください」とメッセージ表示され、初期画面に戻ります
	初期表示状態
	↓ ・ 押下可能な状態
削除ボタン	・[電話/FAX受注入力]画面にて作成したデータ、及び[受注データファイル入力]画面にて入力したデータの削除を行います
※①メニューボタン	■『伝票番号』コンボボックスに「伝票番号」を入力した状態で『削除』ボタンを押下した場合
★F10ボタンで利用可能	*入力された「伝票番号」が、[電話/FAX受注入力]画面にて作成したデータ、及び[受注データファイル入力]画面にて入力したデータで、
	出荷未確定・確定済のデータが存在するかどうかのチェックを行います
	チェックOKだった場合、画面を下記の状態にし、削除が行えるようになります
	「「新規」『変更』『削除』ボタンを押下不可
	・『保存』『取消』ボタンを押下可能
	「「「「」」「「」」」」「「」」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」
	「③取引情報」「④明細情報」を入力/選択不可
	*チェックNGだった場合、「入力・選択した伝票番号は存在しないため、削除処理は行えません」とメッセージ表示され、初期画面に戻ります
	■『伝票番号』コンボボックスが空の状態で『削除』ボタンを押下した時★
	「伝票番号を入力してください」とメッセージ表示され、初期画面に戻ります
	·
	初期表示状態。
	・押下可能な状態

機能名称	機能説明
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	 ★『新規』ボタン押下によって『保存』ボタンが表示されている時★ ・新規に入力されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります ★『変更』ボタン押下によって『保存』ボタンを表示した時★ ・変更されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります ※訂正したデータのピッキングリスト発行状態が『発行済』であった場合、訂正を保存することで、各種帳票の発行状態は『未発行』になります ※変更したデータが『出荷確定済』だった場合、変更を保存することで、『出荷未確定』の状態になります ★『削除』ボタン押下によって『保存』ボタンが表示されている時★ ・選択された「伝票番号」のデータを削除します ※削除後は初期画面に戻ります
	初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『自動採番』『新規』『変更』『削除』ボタンを押下すると『保存』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
取消ボタン ※①メニューボタン ★F9ボタンで利用可能	・全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります ※データ編集中であった場合も、警告無しに全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります
	初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』『削除』ボタンを押下すると『取消』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
伝票番号コンボボックス ※②取引番号	・『伝票番号』コンボボックスに値を入力/選択後、『新規』『変更』『削除』ボタンを押下することで、各処理を開始することができます
	初期表示状態 ・入力/選択可能の状態
取引情報 ※③取引情報	 ・入力・選択された伝票番号に該当する取引情報データを表示します ★『新規』『変更』ボタンを押下した場合★ 各項目が入力/選択可能な状態になります ★『削除』ボタンを押下した場合★ 各項目は入力/選択不可な状態になります
	初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態
DPTコードコンボボックス ※③取引情報	・『DPTコード』コンボボックスリストには、「商品マスタメンテ]画面にて登録した「DPTコード」を表示します ・『DPTコード』コンボボックスを選択することで、「④明細情報」の『商品コード/クラス』コンボボックスのリスト値を以下の条件で絞込を行います ・『DPTコード』コンボボックスにて選択されたDPTコードに紐づく商品コード ※『DPTコード』コンボボックスが選択/入力されていない場合の『商品コード/クラス』コンボボックスのリスト値は『DPTコード』で絞込を行わない状態の 商品コードリストとなります ※『DPTコード』コンボボックスにリスト外の値が入力された場合、『商品コード/クラス』コンボボックスのリスト値の『DPTコード』による絞込は行いません
	初期表示状態 ・選択可能な状態

機能名称	機能説明
経由区分	・経由区分コンボボックスリストには、「1:店直(またはDC)」「2:C/C」「3:T/C」を表示し、初期値は「1:店直(またはDC)」が選択されている状態
※③取引情報	・経由区分コンボボックスで、「2:C/C」「3:T/C」が選択された場合、画面を以下の状態とする
	・『経由センター情報』内の『経由センター』を選択可能とする
	・『経由センター情報』内の『センター納品日』を入力可能とする
	・経由区分コンボボックスで、「1:店直(またはDC)」が選択された場合、画面を以下の状態とする
	・『経由センター情報』内の『経由センター』を選択不可とする(値が選択されている場合は未選択状態に戻す)
	・『経由センター情報』内の『センター納品日』を入力不可とする(値が入力されている場合は未入力状態に戻す)
	忉別衣示仏思 , 翌旧司能な#能([1, 広声(または200)) が翌旧されている)
	「医水可能な状態(「」))」。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」)。 「E水可能な状態(「」)」」。 「E水可能な状態(「」)」)。 「E水可能ないたいでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので
	・入力・選択された伝票番号に該当する明細情報データを表示します
※④明細情報	※出荷確定済データを表示した時、各項目を赤枠で囲み表示します
	★『新規』『変更』ボタンを押下した場合★
	新規1行が表示され、各項目が入力/選択可能な状態になります
	★『削除』ボタンを押下した場合★
	登録されている明細行分の行が表示され、各項目は人力/選択不可な状態になります
	 『商具コード/クラス『コンボボックスはコードを毛入力」で「Entorキー」を押すことによって、コンボボックス内から該当するデータを選択することが出来ます
	『商品コード/フラス]コンボボックスを選択することで、商品マスタに登録している値で、該当行の「商品タ」等の項目を自動的に補完し表示します
	・データを削除する場合は、『削除』ボタンを押下します
	※残りの行が1行の場合は、削除することはできません
	・全項目テータ非表示、人力不可の状態
1] 道加ホック ※④ 明細情報	、一切加口を取入りてなく迫加しより ※商品コード/クラスが空の行は、保存されません
	初期表示状態
	・押下不可の状態

画面名 電話/	「FAX受注入力	
表示対象データ	当画面表示対象テ ・[電話/FAX受 ・[受注データフ ※「出荷確定済 ※[受注データフ	データは以下のデータになります 注入力]画面にて作成した受注データ(出荷未確定、確定済のみ) ァイル入力]画面にて入力した受注データ(出荷未確定、確定済のみ) f」のデータ表示時には、「④明細情報」の各項目を赤枠で囲み表示します ファイル入力]画面にて入力した受注データは削除のみが可能です
表示並び順	取引明細情報 ※④明細情報	行(昇順)
自動計算	数量入力 ※④明細情報	数量に値を入力/変更することで、下記の項目が自動的に計算され表示されます ≪画面表示項目≫ ・原価金額=(数量×原単価)の小数部切捨て ・売価金額=(数量×売単価)の小数部切捨て ≪画面非表示項目≫ ・発注数量(バラ)=出荷数量

画面名		電話/FAX受注入力]					
画面項目	内容										
No	表示	タイトルタ	表示内容(BMS項日名)	刑	最大格	行数	表示形式		入	. л	備老
110	グループ			<u>±</u>	整数	小数	五小市工	形式	必須	チェック	C2. HII
1	②取引番号	伝票番号			10			入力/選択	0	半角数字のみ	
2	③取引情報	社		半角文子/	13/20			選択	0		コンホリストは発注会社マス
			先江石名称	<u> 全用乂子</u> 半色立室 /					-		ダのリスト
3	③取引情報	店舗	取終納品九コート/	千円乂子/	13/20			選択	0		コンホリストは約品元マスダ
			1. 取於納品尤名が	主角又子							ロリスト
4	③取引情報	DPTコード	商品分類(大)	半角文字	10			入力/選択	0	半角英数のみ	コンホリストは間部マスタで 登録された「DPTコード」(重
											複時は統一)
_	ᅇᅖᆋᄖᆂᄳ	テム単成八	「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一					\ 1 52 ↓			以下に従い出力
5	③取引有報	个正良区分	个正具区分	千角又子	2			選択			00:疋貝 01.天空里
											01:17正員
6	③取引情報	取引先		十円又十/ 全角文字	13/20			選択	0		タで登録された取引先のリス
											以下に従い出力
_											01:定番
7	③取引情報	商品区分	商品区分	半角文字	2			選択			02:進特価(中目)
											03:特売(チラシ)
8	③取引情報	発注日	発注日	半角文字	8		YYYYMMDD	入力	0	日付チェック	
9	③取引情報	店舗納品日	最終納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	入力	0	日付チェック	
											以下に従い出力
10	③取引情報	経由区分	予備文字列2	半角文字	1			選択	0		1:店直(またはDC)
	C N S I I I I				-			~~ " `			2:C/C
				业 舟 去 壹 /							コンホリストは約品先マスタ
11	③取引情報	経由センター	直接納品先コート/	千円又子/	13/20			選択	0		(セノダー金録のみ)のリスト
			但按附加元石价								社田区カが「」の場合、回 両佰日「庄」の値を設定
											経由区分が[1]の場合 画
12	③取引情報	センター納品日	直接納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	入力		日付チェック	面項目「店舗納品日」の値を
											以下に従い出力
13	③取引情報	便No	便No	半角文字	2			選択			00:無指定
	0										01~03:1便~3便
											以下に従い出力
14	③取己情報	登注区分	登注区分	半角文字	2			選切			01:本部(計画)発注
, ¹⁷		光江四方	光江西方		<u> </u>			医沉			02:店舗(追加)発注
											03:センター発注
											以下に従い出力
15	③取引情報	税区分	税区分	半角文字	2			選択			
											03:非誅稅
16	④昍細情報	行			4			자미			05.1ホ1Ⅲ2下1元 元1Ⅲ2下1元
17	4.明細情報	<u></u> 商品コード/クラス	商品コード(発注用)	<u></u> 半	14			入力/選択	0	半角数字のみ	
18	④明細情報	取引先商品コート	商品コード(取引先)	半角文字	14			入力	Ĕ		1
19	④明細情報	商品名・型番・カラー	商品名	全角文字	25	1		入力	0		
20	④明細情報	数量	出荷数量(バラ)	数值	6	1	ZZZ,ZZ9.9	入力	Ō	数値のみ	
21	④明細情報	原単価	原単価	数値	8	2	ZZ,ZZZ,ZZ9.Z9	入力	Ō	数値のみ	
22	④明細情報	売単価	売単価	数值	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	入力	0	数値のみ	

23	④明細情報	原価金額	出荷原価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可		
24	④明細情報	売価金額	出荷売価金額	数值	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可		
	画面非表示項目									
25	画面非表示	支払法人コード	画面項目「社」で選択されたコード	半角文字	13			不可		
26	画面非表示	発注者名称カナ	画面項目「社」で選択された⊐ードに 付随する名称カナ	半角文字	13			不可		
27	画面非表示	直接納品先名称カナ	画面項目「経由センター」で選択され たコードに付随する名称カナ	半角文字	13			不可		経由区分が「1」の場合、画 面項目「店」に付随する名称 カナを設定
28	画面非表示	最終納品先名称カナ	画面項目「店」に付随する名称カナを 設定	半角文字	13			不可		
29	画面非表示	計上部署コード	画面項目「店」で選択されたコード	半角文字	13			不可		
30	画面非表示	計上部署名称(カナ)	画面項目「店」で選択された⊐ードに 付随する名称カナ	半角文字	20			不可		
31	画面非表示	請求取引先コード	利用会社コード	半角文字	13			不可		
32	画面非表示	請求取引先名称	利用会社コードに付随する名称	半角文字	20			不可		
33	画面非表示	請求取引先名称(カナ)	利用会社コードに付随する名称カナ	半角文字	20			不可		
34	画面非表示	取引先名称(カナ)	画面項目 取引先」で選択されたコー ドに付随する名称カナ	半角文字	20			不可		
35	画面非表示	納品経路	画面項目「経由区分」が"1"の場合、 「01」(店直)、"2"・"3"の場合「02」(セ ンター)を設定	半角文字	2			不可		
36	画面非表示	商品分類(中)	″0″	半角文字	10			不可		
37	画面非表示	訂正後直接納品先納品日	画面項目「直接納品日」で入力された 値	半角文字	8			不可		経由区分が「1」の場合、画 面項目「店舗納品日」の値を
38	画面非表示	EOS区分	″02″	半角文字	2			不可		
39	画面非表示	処理種別	<u> "01"(発注仕入)</u>	半角文字	2			不可		
40	画面非表示	出荷原価金額合計	明細行の「原価金額」合計値	数值	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	<u>不可</u>		
41	<u> </u>	出荷売価金額合計	明細行の「売価金額」合計値	数值	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	<u>不可</u>	 	
42	画面非表示	商品コート(GIIN)	0	半角文字	14			<u> </u>		
43	画面非 表示	商品コード区分	~999 [~]	半角文字	3			不可		
44	画面非表示	発注数量(バラ)	画面項目「出荷数量」で入力された値	数值	6	1		不可		
45	画面非表示	発注単位	1	数値	4	0		不可		
46	画面非表示	発注数量(発注単位数)	0	数值	6	0		不可		
47	画面非表示	欠品数量(バラ)	0	数値	6	1		不可		
48	画面非表示	欠品区分	″00″	半角文字	2			不可		
49	画面非表示	発注単位コード	″00″	半角文字	2			不可		

画面名 受注データファイル出力

|受注データの外部ファイル出力を行います

画面内容

画面レイアウト



画面操作方法

◆受注データをファイル出力する

1.出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します 2.出力条件を各コンボボックスにて指定します

③出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します

④ファイル形式、出力条件、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名 受注データファイル出力

機能一覧								
機能名称	機能説明							
閉じるボタン ※①メニューボタン	 ・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります 							
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態							
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル入力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、該当画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します							
	初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態							
出力条件 ※③出力条件	 ・「③出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます ※『店舗』は「店舗コード」、『直接納品先』は「直接納品先コード」をそれぞれ検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックスの間に"~"があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「"~"の左にあるコンボボックス指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒ 右のコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒ 右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒ 右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」」 ⇒ 右のデータと出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします 							
	初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態							
出力ファイルパス ※④出力ファイルパス	・「②ファイル形式」「③出力条件」『出力ファイルパス』テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します							
	初期表示状態 ・入力可能な状態							
参照ボタン ※④出カファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します 							
	初期表示状態 ・押下可能な状態							

機能名称	機能説明							
出力開始ボタン	・「②ファイル形式」「③出カ条件」「④出カファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います							
※⑤出力処理開始	・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います							
	次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「④出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします							
	初期表示状態 ・押下可能な状態							
画面名 受注于	データファイル出力							
--------------------	---	---------------------	--	--	--	--	--	--
表示/ファイル 出力対象データ	「③出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します(ファイル出力対象データも同様) ・オンライン受信した受注データ ・電話受注で作成した受注データ ・受注データファイル入力で作成した受注データ							
表示並び順	受信日 ※③出力条件	登録日時(降順)						
	店舗納品日(左) ※③出力条件	店舗納品日[最終納品先納品日](降順)						
	店舗納品日(右) ※③出力条件	店舗納品日[最終納品先納品日](降順)						
	店舗 ※③出力条件	店舗コード[最終納品先コード](昇順)						
	直接納品先 ※③出力条件	直接納品先⊐−ド(昇順)						
	取引先 ※③出力条件	取引先コード(昇順)						

画面	诏	受注データファイル出]							
画面	項目内容										
No	ました しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん し	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	<u>最大林</u> 整数	行数 ┃小数	表示形式		入 必須	力 チェック	備考
	3出力条件	受信日	受信した日時、電話受注入力・受注 ファイル入力した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	2 ③出力条件	店舗納品日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
;	3 ③出力条件	店舗納品日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
4	4 ③出力条件	店舗	最終納品先⊐ード/ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
į	5 ③出力条件	直接納品先	直接納品先⊐ード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
6	3 ③出力条件	取引先	取引先コード/ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
-	7 ④出力ファイ ルパス	出力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	0		

画面名 プルーフリスト出力

|受注受信/出荷送信ブルーフリストの出力を行います

画面内容



画面名 プルーフリスト出力

受注受信/出荷送信ブルーフリストの出力を行います

画面内容

(F5) プレビュー(F6)	閉じる(F12)
出力帳票	②出力帳票
○ 受注受信ブルーフリスト	
☞ 出荷送信ブルーフリスト	
出力条件	③出力条件
送信日時 🔹 ~ 🗌	
店舗納品日	
店舗	
直接納品先	
直接納品先	
直接納品先	④対象

画面操作方法

◆受信/送信プルーフリストを出力する

①出力を行う帳票を選択します

②出力条件を各コンボボックスにて指定します

③.出力対象を指定します

未発行 : 一度も帳票を出力したことがないデータを出力対象とします

再発行:過去に出力を行ったデータのみ出力対象とします

両方 :全てのデータを出力対象とします

④出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます

画面名 プルーフリスト出力	
機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	 ・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります 初期表示状態
ンレビューホタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・「②四刀帳票」「③四刀架件」「④対象」にて指定した架件で四刀される帳票のフレビュー画面を表示します ・プレビュー画面から当該帳票を直接出力することもできます ※プレビュー画面を表示したデータは『発行済』データにはしませんが、プレビュー画面から出力を行った場合は、『発行済』データになります
	初期表示状態 ・押下可能の状態
印刷ボタン ※①メニューボタン ★F5ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」「④対象」にて指定した条件で帳票を出力します ※帳票出力後、出力したデータを『発行済』データとし、「④対象」の『未発行』を選択時に出力対象にならないようにします
出力帳票 ※②出力帳票	・ラジオボタンにて選択した帳票を、『印刷』ボタン・『フレビュー』ボタンにて処理します ・ラジオボタンを変更した場合、「③出力条件」の全てのコンボボックスをクリアします ※「④対象」のラジオボタンは選択されている状態を保持し、変更しません
	・『受注受信プルーフリスト』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『受注受信プルーフリスト』『出荷送信プルーフリスト』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	 ・「②出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、帳票出力対象データを絞り込みます ※『店舗』は「店舗コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・「①出力帳票」にて選択した帳票によって、一番上の条件項目が下記のように変わります 『受注受信プルーフリスト』選択 ⇒ 『受信日時』 『出荷送信ブルーフリスト』選択 ⇒ 『送信日時』 ・コンボボックスの間に"~"があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「"~"の左にあるコンボボックス指定」」「~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 2.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックスのの重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータとみなします 初期表示状態
	・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態

機能名称	機能説明
対象	・「④対象」内ラジオボタンにて選択した対象を帳票出力対象とします
※④対象	※「④対象」は以下のいづれかを選択します
	未発行
	再発行
	両方
	初期表示状態
	・『未発行』ラジオボタンが選択されている状態
	※ラジオボタンは『未発行』『発行済』『両方』が選択可能な状態

画面名 プル-	ーフリスト出力	
表示対象データ	「③出力条件」の名 1.「②出力帳票 ・オンライン 2.「②出力帳票 ・出荷送信し	♪条件コンボボックスには、以下のデータを表示します(出力対象データも同様) 」にて『受注受信プルーフリスト』選択時 受信した受注データ 」にて『出荷送信プルーフリスト』選択時 した全てのデータ
表示並び順	受信日時(左)	登録日時(降順)
	<u>※③山万米 +</u> 受信日時(右) ※③出力条件	登録日時(降順)
	送信日時(左) ※③出力条件	送信日時(降順)
	送信日時(右) ※③出力条件	送信日時(降順)
	店舗納品日(左) ※③出力条件	最終納品先納品日(降順)
	店舗納品日(右) ※③出力条件	最終納品先納品日(降順)
	店舗 ※③出力条件	
	直接納品先 ※③出力条件	直接納品先コード(昇順)
	取引先 ※③出力条件	取引先コード(昇順)

画面	名	ブルーフリスト出力									
画面功	頁目内容										
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	 最大桁 整数 	ī数 小数	表示形式	 形式	<u>入力</u> 必須] チェック	備考
			出力	」条件(受注受信:	プルーフリン	スト選打	尺時)	•			
1	③出力条件	受信日(左)	登録日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	③出力条件	受信日(右)	登録日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	納品年月日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
4	③出力条件	納品年月日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
5	③出力条件	納品店舗	最終納品先⊐ード/ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
6	③出力条件	直接納品先	直接納品先⊐ード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
7	③出力条件	取引先	取引先コード/ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
		•	出力	」条件(出荷送信:	プルーフリス	スト選打	尺時)				•
8	③出力条件	送信日(左)	送信日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
9	③出力条件	送信日(右)	送信日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
10	③出力条件	納品年月日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
11	③出力条件	納品年月日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
12	③出力条件	納品店舗	最終納品先コード/ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
13	③出力条件	直接納品先	直接納品先⊐ード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
14	③出力条件	取引先	取引先コード/ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			

画面名 ピッキングリスト出力

|納品先別/商品別ピッキングリストの出力を行います

画面内容



画面操作方法

◆ピッキングリストを出力する

①出力を行う帳票を選択します

②出力条件を各コンボボックスにて指定します

③.出力対象を指定します

未発行 : 一度も帳票を出力したことがないデータを出力対象とします

再発行:過去に出力を行ったデータのみ出力対象とします

両方 :全てのデータを出力対象とします

④出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます

画面名 ピッキングリスト出力	
機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	 ・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・ 押下可能の状態
プレビューボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」「④対象」にて指定した条件で出力される帳票のプレビュー画面を表示します ・プレビュー画面から当該帳票を直接出力することもできます ※プレビュー画面を表示したデータは『発行済』データにはしませんが、プレビュー画面から出力を行った場合は、『発行済』データになります
	初期表示状態 ・押下可能の状態
印刷ボタン ※①メニューボタン ★F5ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」「④対象」にて指定した条件で帳票を出力します ※帳票出力後、出力したデータを『発行済』データとし、「④対象」の『未発行』を選択時に出力対象にならないようにします
	初期表示状態 ・押下可能の状態
出力帳票 ※②出力帳票	・ラジオボタンにて選択した帳票を、『印刷』ボタン・『プレビュー』ボタンにて処理します ・ラジオボタンを変更した場合、「③出力条件」の全てのコンボボックスをクリアします ※「④対象」のラジオボタンは選択されている状態を保持し、変更しません
	初期表示状態 ・『納品先別ピッキングリスト』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『納品先別ピッキングリスト』『商品別納品先縦並びピッキングリスト』 『商品別納品先横並びピッキングリスト』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	 ・「③出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、帳票出力対象データを絞り込みます ※『店舗』は「店舗コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックスの間に"~"があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「"~"の左にあるコンボボックス指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします
	初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態

機能名称	機能説明
対象	・「④対象」内ラジオボタンにて選択した対象を帳票出力対象とします
※④対象	※「④対象」は以下のいづれかを選択します
	未発行
	再発行
	両方
	初期表示状態
	・『未発行』ラジオボタンが選択されている状態
	※ラジオボタンは『未発行』『発行済』『両方』が選択可能な状態

画面名 ピッキ	シグリスト出力	
表示対象データ	「③出力条件」の名 ・オンライン受信 ・電話受注で作 ・受注データファ	各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します(出力対象データも同様) 言した受注データ 成した受注データ アイル入力で作成した受注データ
表示並び順	店舗納品日(左) ※③出力条件	最終納品先納品日(降順)
	店舗納品日(右) ※③出力条件	最終納品先納品日(降順)
	店舗 ※③出力条件	最終納品先コード(昇順)
	受信日時(左) ※③出力条件	登録日時(降順)
	受信日時(右) ※③出力条件	登録日時(降順)
	直接納品先 ※③出力条件	直接納品先コード(昇順)
	取引先 ※③出力条件	取引先コード(昇順)

画面	ī名	ピッキングリスト出力									
画面	項目内容										
No	ま あ示 がループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	 最大桁 整数 	ī数 小数	表示形式		入 必須	力 チェック	備考
	1 ③出力条件	店舗納品日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
	2 ③出力条件	店舗納品日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
:	3 ③出力条件	店舗	最終納品先コード/ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
	4 ③出力条件	受信日時(左)	登録日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
	5 ③出力条件	受信日時(右)	登録日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
	3 ③出力条件	直接納品先	直接納品先⊐ード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
	7 ③出力条件	取引先	取引先コード/ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			

|納品明細書の出力を行います

画面内容



画面操作方法

①.納品明細書の出力部数を指定します

②.出力条件『納品経路』をコンボボックスにて指定します

③『納品経路』以外の出力条件を各コンボボックスにて指定します

※指定しない場合は『納品経路』で指定したデータ全てが出力されます

④.出力対象を指定します

未発行 : 一度も帳票を出力したことがないデータを出力対象とします

再発行:過去に出力を行ったデータのみ出力対象とします

両方 :全てのデータを出力対象とします

⑤出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます

回回右 枘 向 リスト 山 刀	
機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	 ・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります
★F12ホタンで利用可能	初期表示状態 ・ 押下可能の状態
プレビューボタン ※①メニューボタン	・「②出力帳票」「③出力条件」「④対象」にて指定した条件で出力される帳票のプレビュー画面を表示します ・プレビュー画面から当該帳票を直接出力することもできます ※ゴレビュー画面を表示したデータは『発行法』データにはしませくが、プレビュー画面から出れた行った場合は、『発行法』データになります。
	※クレビュー画面を表示した)ーダは『光1]が』)ーダにはじませんが、クレビュー画面がら山がを11つた場合は、『光1]が』)ーダになります 初期表示状態
[미민·ᅷᄼᆞ	
ロ:両パラン ※①メニューボタン ★F5ボタンで利用可能	い。 ※帳票出力後、出力したデータを『発行済』データとし、「④対象」の『未発行』を選択時に出力対象にならないようにします
	初期表示状態 ・ 押下可能の状態
出力帳票 ※②出力帳票	・ラジオボタンにて選択した帳票を、『印刷』ボタン・『プレビュー』ボタンにて処理します ・ラジオボタンを変更した場合、「③出力条件」の全てのコンボボックスをクリアします ※「④対象」のラジオボタンは選択されている状態を保持し、変更しません
出力条件 ※③出力条件	 ・「③出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、帳票出力対象データを絞り込みます ※『直接納品先』は「直接納品先コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックスの間に"~"があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「"~"の左にあるコンボボックス指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います

機能名称	機能説明
	初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態
対象 ※④対象	・「④対象」内ラジオボタンにて選択した対象を帳票出力対象とします ※「④対象」は以下のいづれかを選択します 未発行 再発行 両方
	初期表示状態 ・『未発行』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『未発行』『発行済』『両方』が選択可能な状態

画面名 納品!	リスト出力						
表示対象データ							
表示並び順 ※仕入伝票	納品経路 ※③出力条件	納品経路(昇順)					
	受信日時(左) ※③出力条件	登録日時(降順)					
	受信日時(右) ※③出力条件	登録日時(降順)					
	訂正後直接納品日(左) ※③出力条件	訂正後直接納品先納品日(降順)					
	訂正後直接納品日(右) ※③出力条件	訂正後直接納品先納品日(降順)					
	直接納品先 ※③出力条件	直接納品先コード(昇順)					
	取引先 ※③出力条件	取引先コード(昇順)					

画面	名	納品リスト出力									
画面項	頁目内容										
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大梢 整数	ī数 小数	表示形式		入 必須	<u>力</u> チェック	備考
1	③出力条件	納品経路	納品経路	文字列	2			選択	0		以下に従い出力 01:店舗直納 02:センター納品
2	③出力条件	受信日時(左)	登録日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	受信日時(右)	登録日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
4	③出力条件	訂正後直接納品日(左)	訂正後直接納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
5	③出力条件	訂正後直接納品日(右)	訂正後直接納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
6	③出力条件	直接納品先	直接納品先コード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			

|納品明細書の出力を行います

画面内容



画面操作方法

①.納品明細書の出力部数を指定します

②.出力条件を各コンボボックスにて指定します

③出力対象を指定します

未発行 : 一度も帳票を出力したことがないデータを出力対象とします

再発行 :過去に出力を行ったデータのみ出力対象とします

両方 :全てのデータを出力対象とします

④出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます

画面名 納品リスト出力						
機能一覧						
機能名称	機能説明					
閉じるボタン ※①メニューボタン	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります					
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態					
プレビューボタン ※①メニューボタン	 ・「②出力帳票」「③出力条件」「④対象」にて指定した条件で出力される帳票のプレビュー画面を表示します ・プレビュー画面から当該帳票を直接出力することもできます 					
★F6ボタンで利用可能	※プレビュー画面を表示したデータは『発行済』データにはしませんが、プレビュー画面から出力を行った場合は、『発行済』データになります					
	初期表示状態 ・押下可能の状態					
印刷ボタン ※①メニューボタン ★F5ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」「④対象」にて指定した条件で帳票を出力します ※帳票出力後、出力したデータを『発行済』データとし、「④対象」の『未発行』を選択時に出力対象にならないようにします 					
	初期表示状態 ・ 押下可能の状態 					
出力帳票 ※②出力帳票	・ラジオボタンにて選択した帳票を、『印刷』ボタン・『プレビュー』ボタンにて処理します ・ラジオボタンを変更した場合、「③出力条件」の全てのコンボボックスをクリアします ※「④対象」のラジオボタンは選択されている状態を保持し、変更しません					
	初期表示状態 ・『納品明細書』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『納品明細書』が選択可能な状態					
印刷部数指定 ※②出力帳票	・印刷部数指定コンボボックスで指定された部数を『印刷』ボタン・『プレビュー』ボタンにて処理します ・印刷部数指定コンボボックスは1~3部まで選択可能です					
	初期表示状態 ・『1』部が選択されている状態 ※コンボボックスは『1』『2』『3』が選択可能な状態					
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、帳票出力対象データを絞り込みます ※『直接納品先』は「直接納品先コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックスの間に"~"があるコンポボックスに関しては、以下のような指定が可能です					
	1.「"~"の左にあるコンボボックス指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします					
	3.1~~ の左にあるコンホホックス未指定」」~~ の右にあるコンホホックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います					
	「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします					
	初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態					

機能説明
・「④対象」内ラジオボタンにて選択した対象を帳票出力対象とします
」※「④対象」は以下のいづれかを選択します
, 未発行 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
, 再発行
,
<u> </u>
初期表示状態
- "「未発行」ラジオホタンが選択されている状態
※フジオホタンは 未発行 発行済 両方 が選択可能な状態

画面名 納品!	リスト出力						
表示対象データ							
表示並び順 ※仕入伝票	納品経路 ※③出力条件	納品経路(昇順)					
	受信日時(左) ※③出力条件	登録日時(降順)					
	受信日時(右) ※③出力条件	登録日時(降順)					
	訂正後直接納品日(左) ※③出力条件	訂正後直接納品先納品日(降順)					
	訂正後直接納品日(右) ※③出力条件	訂正後直接納品先納品日(降順)					
	直接納品先 ※③出力条件	直接納品先⊐−ド(昇順)					
	取引先 ※③出力条件	取引先コード(昇順)					

画面	名	納品リスト出力									
画面項	頁目内容										
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大梢 整数	ī数 小数	表示形式		入 必須	<u>力</u> チェック	備考
1	③出力条件	納品経路	納品経路	文字列	2			選択	0		以下に従い出力 01:店舗直納 02:センター納品
2	③出力条件	受信日時(左)	登録日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	受信日時(右)	登録日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
4	③出力条件	訂正後直接納品日(左)	訂正後直接納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
5	③出力条件	訂正後直接納品日(右)	訂正後直接納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
6	③出力条件	直接納品先	直接納品先コード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			

画面名 出荷確定

|出荷データの確定/確定解除を行います

画面内容



画面名 出荷確定

画面操作方法

◆出荷確定をする

①.『未確定データ』を選択し『検索』ボタンを押します
 「明細一覧」に指定した「対象」のデータが表示されます
 ②.確定を行うデータにチェックを付けます
 ③.『確定』ボタンを押すことでチェックしたデータを出荷確定済みにします

◆出荷確定をする

 ①『確定済データ』を選択し『検索』ボタンを押します 「明細一覧」に指定した「対象」のデータが表示されます
 ②.確定解除を行うデータにチェックを付けます

③『確定解除』ボタンを押すことでチェックしたデータが確定解除され、出荷未確定に戻ります

画面名 出荷確定	
機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	 ・『出荷確定済&出荷未送信』がある時、以下メッセージを表示します 「出荷送信対象のデータがあります 出荷送信画面を開きますか?」 ⇒「はい」選択で当該画面を終了し、出荷送信画面を自動で表示します 「いいえ」選択で当該画面を終了し、受注/出荷画面に戻ります ・『出荷確定済&出荷未送信』がない時は、上記メッセージを表示せずに当該画面を終了し、受注/出荷画面に戻ります
確定ボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	
	初期表示状態 ・押下不可の状態 ※「②対象」にて『未確定データ』が選択されている状態で、『検索』ボタンを押下すると『確定』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
確定解除ホタン ※①メニューボタン ★F7ボタンで利用可能	・「④明細一員」」ことチェックを付けた田何確定済ナータを「田何未確定」の状態にします ※上記処理完了後、初期状態に戻します
全選択ボタン ※①メニューボタン ★F10ボタンで利用可能	・「④明細一覧」に表示されているデータ全てにチェックを付けます ※既にチェックが付いている状態で押下しても何も動作しません ※複数ページが存在する時、全てのページのチェックボックスにチェックを付けます
	初期表示状態 ・押下不可の状態 ※「④明細一覧」にデータが表示されている状態でのみ押下可能な状態になります
選択解除ボタン ※①メニューボタン ★F11ボタンで利用可能	・「④明細一覧」に表示されているデータ全てのチェックを外します ※既にチェックが外れている状態で押下しても何も動作しません ※複数ページが存在する時、全てのページのチェックボックスからチェックを外します
	初期表示状態 ・押下不可の状態 ※「④明細一覧」にデータが表示されている状態でのみ押下可能な状態になります
取消ボタン ※①メニューボタン	・「③絞込条件」「④明細一覧」をクリアし、初期状態にします
★F9ボタンで利用可能 	初期表示状態 ・押下不可の状態 ※「④明細一覧」にデータが表示されている状態でのみ押下可能な状態になります

機能名称	機能説明
検索ボタン ※②対象	・「②対象」のラジオボタンを条件に、「③絞込条件」内のコンボボックスを作成、「④明細一覧」に該当データを表示します ※「④明細一覧」に該当データを表示した後、『検索』ボタンを押下不可に、「②対象」を選択不可な状態にします ※該当データが表示件数(15行)以上存在した時、「④明細一覧」にスクロールバーを表示します
	初期表示状態 ・押下可能な状態
対象 ※②対象	・『検索』ボタンが押されたら「③絞込条件」「④明細一覧」が使用可能の状態にします
	初期表示状態 ・『未確定データ』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『未確定データ』『確定済データ』が選択可能な状態 ・『検索』ボタン押下可能の状態
絞込条件 ※③絞込条件	・「④明細一覧」に表示しているデータの絞込を行います ※「④明細一覧」にデータが表示されている状態でのみ指定可能です ※各条件コンボボックスで選択した値全てをAND条件とし『明細一覧』の絞込を行いますが、各条件コンボボックスの絞込は行いません ※『店舗』は「店舗コード」、「直接納品先」は「直接納品先コード」、「取引先」は「取引先コード」を検索キーとして用います ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード:名称」で重複判断を行います ただし、絞込処理は「コード」のみで行うため、選択した「コード:名称」のデータのみを表示することはできません
	初期表示状態 ・全項目データ非表示、選択不可の状態
明細一覧 ※④明細一覧	・「②対象」「③絞込条件」で指定した条件に該当するデータを表示します
	初期表示状態 ・全項目データ非表示

画面名 出荷码	雀定	
表示対象データ	当画面表示対象テ ・オンライン受信 ・電話受注入力 ・受注ファイルン	データは以下のデータになります 言した受注データの「出荷未確定」「出荷確定済」のデータ 」画面で作成した受注データの「出荷未確定」「出荷確定済」のデータ 入力で作成した受注データの「出荷未確定」「出荷確定済」のデータ
表示並び順	明細一覧 ※④明細一覧	店舗納品日>発注日>直接納品日(訂正直接納品日)>取引先コード>店舗コード>直接納品先コード>伝票番号
	店舗納品日 ※③絞込条件	納品年月日(降順)
	店舗 ※③絞込条件	納品店舗コード(昇順)
	直接納品先 ※③絞込条件	直接納品先コード(昇順)
	取引先 ※③絞込条件	取引先コード(昇順)
	伝票番号 ※③絞込条件	伝票番号(昇順)

画面											
画面功	目内容										
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	 最大桁 整数 	ī数 小数	表示形式	形式	入 必須	力 チェック	- 備考
1	③絞込条件	店舗納品日	最終納品先納品日	日付	8		YYYYMMDD	選択			
2	③絞込条件	店舗	最終納品先⊐ード/ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
3	③絞込条件	直接納品先	直接納品先⊐ード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
4	③絞込条件	取引先	取引先⊐ード/ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
5	③絞込条件	伝票番号	取引番号(発注·返品)	半角文字	9			入力/選択		半角数字のみ	
6	④明細一覧	店舗納品日	最終納品先納品日	日付	8		YYYYMMDD	不可			
7	④明細一覧	発注日	発注日	日付	8		YYYYMMDD	不可			
8	④明細一覧	直接納品日	訂正後直接納品先納品日(値がNULL の場合は直接納品先納品日)	日付	8		YYYYMMDD	不可			
9	④明細一覧	取引先	取引先コード/ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
10	④明細一覧	納品店舗	最終納品先コード/ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
11	④明細一覧	直接納品先	直接納品先⊐ード╱ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
12	④明細一覧	伝票番号	取引番号(発注·返品)	半角文字	10			不可			
13	④明細一覧	原価金額合計	出荷原価金額合計	数值	10		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
14	④明細一覧	売価金額合計	出荷売価金額合計	数值	10		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
15	④明細一覧	データ作成元	データ作成元	半角文字	1			不可			以下に従い表示 0:オンライン受信 1:電話受注入力画面作成 2:ファイル入力作成

画面名 出荷確定データファイル入力

|出荷確定データの外部ファイル入力を行います

画面内容



画面名 出荷確定データファイル入力

画面操作方法 出荷確定データの外部ファイル入力を行います

◆受注データをファイル入力する

①.入力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
 ②.入力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します
 ③.ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『入力処理開始』ボタンを押すことでファイル入力が開始されます

画面名 出荷確定テータファイル	人力						
機能一覧 出荷確定データの外	部ファイル入力を行います						
機能名称	機能説明						
閉じるボタン ※①メニューボタン	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります 						
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態 						
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル入力処理を行います ・ファイル入力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、該当画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル入力処理を行ったファイル形式を自動選択します						
	初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態						
入力ファイルパス ※③入力ファイルパス	・入力ファイルパスを入力します ※ファイルパスは絶対パスで入力してください ・ファイル入力処理と同時に入力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『入力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル入力処理を行ったファイルパスを自動表示します						
	初期表示状態 ・入力可能な状態						
参照ボタン ※③入力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『入力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します						
	初期表示状態 ・押下可能な状態 						
入力処理開始ボタン ※④入力処理開始	・「②ファイル形式」「③入力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル入力を行います ・ファイル入力処理と同時に入力ファイルパスの記憶を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「③入力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル入力時の状態にします						
	初期表示状態 ・押下可能な状態 						
画面名 出荷码	崔定データファイル.	入力					
-----------------	---	--					
ファイル入力 対象データ	 ファイル入力対象÷ ・既存出荷未確 ※出荷確定済・ ★ファイル入力は」 支払法人コード 取引番号(発注 ◆「取込済み受注・ ・キー項目が全て- キー項目が一致 	データは以下になります 定受注データ 出荷送信済データは対象外となります 以下の項目をキーとして用います★ 、発注者コード、請求取引先コード、取引先コード、最終納品先納品日、最終納品先コード ・返品)、取引明細番号(発注・返品) データ」の判断について◆ -致するデータが存在する入力データに関しては"取込済み受注データと判断します しないデータは既存出荷未確定データなしと判断します					
表示並び順							

画面名 出荷確定データファイル入力			出荷確定デー	ータファイ	ル入	カ					
画面	画面項目内容 出荷確定データの外部ファイル入力を行います										
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大档 整数	行数 小数	表示形式		入 必須	力 チェック	備考
1	③入力ファイ ルパス	入力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	0		

画面名 出荷確定データファイル出力

|出荷確定データの外部ファイル出力を行います

画面内容



画面名 出荷確定データファイル出力

画面操作方法

①出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します

②.出力条件を各コンボボックスにて指定します

③出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します ④ファイル形式、出力条件、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名 出荷確定データファイル出力

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル出力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、該当画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します
	初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	 ・「③出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます ※『店舗』は「店舗コード」、『直接納品先』は「直接納品先コード」をそれぞれ検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックスの間に"~"があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「"~"の左にあるコンボボックス指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックスの運復する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします
出力ファイルパス ※④出力ファイルパス	・「②ファイル形式」「③出力条件」『出力ファイルパス』テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します
	初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※④出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します
	初期表示状態 ・押下可能な状態

機能名称	機能説明
出力処理開始ボタン	・「②ファイル形式」「③出力条件」「④出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います
※⑤出力処理開始	・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います
	次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「④出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします
	初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名 出荷码	崔定データファイル	出力
表示/ファイル 出力対象データ	「②出力条件」の名 ・出荷確定した ・出荷送信した ※出荷未確定の	各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します(ファイル出力対象データも同様) データ データ のデータは対象外になります
表示並び順	確定日時 ※③出力条件	確定日(降順)
	店舗納品日(左) ※③出力条件	最終納品先納品日(降順)
	店舗納品日(右) ※③出力条件	最終納品先納品日(降順)
	店舗 ※③出力条件	納品店舗コード(昇順)
	直接納品先 ※③出力条件	直接納品先コード(昇順)
	取引先 ※③出力条件	取引先コード(昇順)

画面	ī名	出荷確定データファイ	ル出力									
画面	項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名 表示内容(BMS項目名)		型 最大 型 整数		行数 小数	表示形式	入力 形式 必須 チェック		力 チェック	備考	
1	③出力条件	確定日時	出荷確定した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する	
2	2 ③出力条件	店舗納品日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する	
3	3 ③出力条件	店舗納品日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する	
4	3出力条件	店舗	最終納品先コード/ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択				
Ę	5 ③出力条件	直接納品先	直接納品先コード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択				
6	3出力条件	取引先	取引先コード/取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択				
7	, ④出力ファイ ルパス	出力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	0			

画面名 出荷送信

|出荷確定済データの送信を行います

画面内容



画面名 出荷送信

画面操作方法

◆出荷データを送信する

①送信対象を指定します(「取引先」を選択した場合は、必ず取引先を指定します)

②送信と同時に出力する帳票を選択します ③送信対象、出力帳票の指定が終わったら、『送信開始』ボタンを押すことで送信が開始されます

画面名 出荷送信	
機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	 ・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・ 押下可能の状態
送信モード ※②送信モード	初期表示状態 ・『送信』ラジオボタンが選択されている状態
対象 ※③対象	・「③出力条件」内ラジオボタンにて選択した値を条件とし、送信対象データを絞り込みます ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します
	初期表示状態 ・『全送信』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『全送信』『取引先』が選択可能な状態
出力帳票 ※④出力帳票	・「④出力帳票」内チェックボックスにて選択した対象を帳票出力対象とします
	初期表示状態 ・チェックボックスは『送信プルーフリスト』が選択可能な状態 ※『閉じる』ボタンによるチェック状態の保存が行われていない時(初期状態)、 全てのチェックボックスにチェックがない状態になります
送信開始ボタン ※⑤送信開始	・「③対象」で選択した該当出荷確定済データを送信します
	初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名 出荷证	面名 出荷送信							
表示対象データ	「③出力条件」の名 ・出荷確定済+	·条件コンボボックスには、以下のデータを表示します 未送信データ						
表示並び順	取引先 ※③対象	取引先コード(昇順)						

画面	名	出荷送信									
画面項	自内容										
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	──最大桁 整数	ī数 小数	表示形式	形式	入 必須	力 チェック	備考
1	③対象	取引先	取引先コード/ 取引先名称	文字	13/20			選択			

画面名 受領返品一覧画面

受信した受領、返品データを一覧画面で確認します

画面内容

	計上日	2	20160120	~	20160125		横莽					②対象
「絞	込条件											
	データ種		店舗		互接納品先 「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		取引先	ť	云票番号			3 秋 达
	4	_	4	_	1	_	1	_	1			- i
確認一點											╶╾╼╺╸	
=240m		1 -0.0	1	1 + 4+/4 17 44	8-7 LHL	/- 35 - 2	0.007				_	④確認
= 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王 王	テータ種	20160122	15語	 直接納品先 0001-印度物法セント 	取引先 000000-株式会社	広票番号 1000124		前品区分	原価金額合計 6000	売恤金額合計 10,000		i i
三王治田		20160120	00012小金井	0801:四島物流行	999000株式会社	1000031	401	01:定番	46,000	76,640		
詳細	0:受領	20160121	0001小金井	0801:昭島物流セ	999000:株式会社	1000016	401	01:定番	22.000	36,600		
詳細	0:受領	20160121	0001小金井	0801:昭島物流セン	999000:株式会社	1000020	401	01:定番	57,000	95,000		
副業務田	0:受領	20160121	0001:小金井	0801:昭島物流セ)	999000:株式会社	1000053	401	01:定番	168,000	279,902		1
詳細	0:受領	20160121	0001:小金井	0801:昭島物流セ	999000:株式会社	1000064	401	01:定番	168,000	279,902		1
詳細	0:受領	20160121	0001:小金井	0801:昭島物流セ)	999000:株式会社	1000075	401	01:定番	168,000	279,902		
副業新田	0:受領	20160121	0001:小金井	0801:昭島物流セ	999000:株式会社	1000086	402	01:定番	168,000	279,902		
詳細]0:受領	20160121	0001:小金井	0801:昭島物流セ	999000:株式会社	1000090	401	03:特売(チラシ)	168,000	279,902		- i
詳細	0:受領	20160121	0001:小金井	0801:昭島物流セ	999000:株式会社	1000101	401	01:定番	168,000	279,902		1 - C
詳細	0:受領	20160121	0001:小金井	0801:昭島物流セ	999000:株式会社	1000123	401	01:定番	35,790	58,010		
詳細	0:受領	20160120	0003:早稲田	0003:早稲田	999000:株式会社	1000042	401	01:定番	64,000	106,620		
目光公田	0:受領	20160120	0003:早稲田	0003:早稲田	999000:株式会社	1000112	401	01:定番	35,790	58,010		

画面操作方法

◆受領データ、返品データを確認する

 ①.『対象期間』に表示対象の計上日を入力します
 ②.『検索』ボタンを押すことで、「確認一覧」に指定した「対象期間」のデータが表示されます
 ③.「確認一覧」に表示されたデータを絞り込むには、「絞込条件」を指定します
 ④.『詳細』ボタンを押すことで、データ種別明細画面を表示します

画面名	受領返品-	·覧画面
-----	-------	------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	 ・当該画面を終了し、受領/返品業務画面に戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態
検索ボタン ※①メニューボタン	・「②対象期間」の『計上日』を条件に、「③絞込条件」内のコンボボックスを再作成、「④確認一覧」に該当データを表示します ※『検索』ボタン押下時に、「③絞込条件」内のコンボボックスに入力/選択されていた値をクリアします ※該当データが表示件数(15行)以上存在した時、「④確認一覧」にスクロールバーを表示します
	初期表示状態 ・押下可能の状態
対象期間 ※②対象期間	・『計上日』の条件は、以下のような指定が可能です 1.「"~"の左にあるコンボボックス指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒ 左のコンボボックスで指定した値以降全てを検索対象とします 2.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス指定」 ⇒ 右のコンボボックスで指定した値以前全てを検索対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス指定」「"~"の右にあるコンボボックス指定」 ⇒ 左右のコンボボックスで指定した範囲内を検索対象とします
	初期表示状態 ・左右の『計上日』テキストボックスにシステム日付を表示 ・『計上日』テキストボックスが入力可能の状態 ・『検索』ボタン押下可能の状態
絞込条件 ※③絞込条件	 ・「④確認一覧」に表示されたデータを絞込ます ※「④確認一覧」にデータが表示されている状態でのみ指定可能です ※各条件コンボボックスで選択した値全てをAND条件とし『確認一覧』の絞込を行いますが、各条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称カナ」となっているコンボボックスでは、「コード:名称カナ」で重複判断を行います ただし、絞込処理は「コード」のみで行うため、選択した「コード:名称カナ」のデータのみを表示することはできません
	初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態
確認一覧 ※④確認一覧	・「②対象期間」「③絞込条件」で指定した条件に該当するデータを表示します ・『詳細』ボタンを押下することで、各データ種の明細画面を開きます 受領データ → 受領明細画面 返品データ → 返品明細画面
	初期表示状態 ・全項目データ非表示

画面名 受領法	反品一覧画面	
表示対象データ	当画面表示対象テ ・受領データ ・返品データ	ータは以下のデータになります
表示並び順	確認一覧 ※④確認一覧	計上日(降順)>最終納品先コード>直接納品先コード>取引先コード>取引番号>データ種
	データ種 ※③絞込条件	データ種(昇順) ※「0:受領」>「2:返品」の順
	店舗 ※③絞込条件	店舗コード[最終納品先コード](昇順)
	直接納品先 ※③絞込条件	直接納品先コード(昇順)
	取引先 ※③絞込条件	取引先コード(昇順)
	伝票番号 ※③絞込条件	取引番号(昇順)

画面名	受領返品一覧画面
-----	----------

画面功	自内容										
Na	表示	与ノトリタ	まこ中応(PMC項日々)	刑	最大権	ī数	キテジナ		入	. л	供来
INO	ク゛ルーフ゜	ジョール石	石小内谷(DIVI3項日石)	坐	整数	小数	衣小形式	形式	必須	チェック	1用 行
1	②対象期間	計上日(左)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	入力	Ж	日付チェック	左右どちらか入力必須
2	②対象期間	計上日(右)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	入力	Ж	日付チェック	左右どちらか入力必須
3	③絞込条件	データ種	データ種を「0:受領」「2:返品」で表示 する	全角文字				選択			以下に従い表示 0:受領 2:返品
4	③絞込条件	直接納品先	直接納品先⊐ード/ 直接納品先名称	半角文字	13/20			選択			
5	③絞込条件	店舗	最終納品先⊐ード/ 最終納品先名称	半角文字	13/20			選択			
6	③絞込条件	取引先	取引先⊐ード/ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
7	③絞込条件	伝票番号	取引番号	半角文字	10			入力/選択		半角数字のみ	
8	④確認一覧	データ種	データ種を「0:受領」「2:返品」で表示 する	全角文字				不可			以下に従い表示 0:受領 2:返品
9	④確認一覧	計上日	計上日	日付	8		YYYYMMDD	不可			
10	④確認一覧	店舗	最終納品先コード/ 最終納品先名称	半角文字	13/20			不可			
11	④確認一覧	直接納品先	直接納品先⊐ード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
12	④確認一覧	取引先	取引先⊐ード/ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
13	④確認一覧	伝票番号	取引番号	半角文字	10			不可			
14	④確認一覧	DPTコード	商品分類(大)	半角文字/ 全角文字	10			不可			
15	④確認一覧	商品区分	商品区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:定番 02:準特価(中目) 03:特売(チラシ)
16	④確認一覧	原価金額合計	原価金額合計	数值	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
17	④確認一覧	売価金額合計	売価金額合計	数值	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			

画面名 受領明細画面

|受領データを受領明細画面で確認します

画面内容

伝票番号 1000016			_									
1000016												
取引情報												
「た緒コード	「古培纳只生」ード	T	Î.	不完實反公	幼县经数	祭注書	1-K	古北洋人内山ド	取21共		■ 課	1-k*
店舗名	直接納品先名			TRACI	(便No	光江省	名称		取引先	- 名称	請求取引先:	名称
0001	0801		012	不定貫	02:センター納品	50	50		999000		999000	
小金井	昭島物流センター	í –	ŕ		00:無指定	Olympic	î		株式会社方	-21-	株式会社テス	h l
DPTK	直接納品日	訂正直接納品日	Î	計上日	発注区分	税区分		修正文字	EOS区分	÷	伝票区分	
発注日	店舗約品日	訂正店舗約品日	Ť.	商品区分	発注区分名称	税率			店舗略称			
401	20200120	20200120	202	00121	02:店舗(追加)発注	05:原価外税	売価外 TC	1)1:EOS発注	0	1.発注仕入	
20200119	20200121	20200121	01:5	を番	テンホ゜ハツチユウ		10.0 小金井					
商品コード	取引先商品コード		行	ラインコード	カラー	入数	発注数量	受領数量	原単価	受領原価	金額	
商品コード	取引先商品コト 総合		ŕī	ラインコード クラスコード	カラー ガラー サイズ !	入数 笔注7-2数	発注数量 出荷数量	受領数量 受領か-2数	原単価	受領原価 受領売価	金額 金額	
商品コード 0000000116	取引先商品コート [®] 商品名・規格 1234567890116		行 1	ラインコード クラスコード 820	カラー サイズ 3	入数 轮注7-3数 1	発注数量 出荷数量 2.0	受領数量 受領か-ス数 0.0	原単価 売単価 300.00	受領原価 受領売価	金額 金額 0	
商品コード 0000000116 ショウヒン1	取引先商品コート [®] 商品名・規格 1234567890116		行 1	ラインコード クラスコード 820 1901	カラー サイズ §	入数 笔注7-2数 1 2	<u>発注数量</u> 出荷数量 2.0 2.0	受領数量 受領ケース数 0.0 0	原単価 売単価 300.00 500	受領原価受領売価	金額 金額 0 0	
商品コード 0000000116 ショウヒン1 0000000213	取引先商品コート[、]商品名・規格 1234567890116 1234567890213		行 1 2	ラインコード クラスコード 820 1901 820	カラー サイズ !	入数 総注ケース数 1 2 1	<u>発注数量</u> 出荷数量 2.0 2.0 6.0	受領数量 受領ケス数 0.0 0 6.0	原単価 売単価 300.00 500 200.00	受領原価 受領売価	金額 金額 0 0 0	
商品コード 0000000116 ショウヒン1 000000213 ショウヒン2	取引先商品コート [、] 商品名・規格 1234567890116 1234567890213		行 1 2	ラインコード クラスコード 820 1901 820 1901	カラー サイズ !	入数 轮注か-2数 1 2 1 6	<u>発注数量</u> 出荷数量 2.0 2.0 6.0 6.0	受領数量 受領か-2数 0.0 0 6.0 6.0	原単価 売単価 300.00 500 200.00 333	受領原価受領売価	金額 金額 0 0 0	
商品コード 0000000116 ショウヒン1 0000000213 ショウヒン2 0000000310	取引先商品コート [、] 商品名・規格 1234567890116 1234567890213 1234567890310		行 1 2 3	ラインコード クラスコード 820 1901 820 1901 820	カラー サイズ 1	入数	発注数量 出荷数量 2.0 2.0 6.0 6.0 6.0	受領数量 受領か-2数 0.0 0 6.0 6 6.0	原単価 売単価 300.00 500 200.00 333 100.00	受領原価受領売価	金額 金額 0 0 0 0 0	
商品コード 0000000116 ショウヒン1 0000000213 ショウヒン2 0000000310 ショウヒン3	取引先商品コート[®]商品名・規格 1234567890116 1234567890213 1234567890310		行 1 2 3	ラインコード クラスコード 820 1901 820 1901 820 1901	カラー サイズ 3	入数 彩注为-2数 1 2 1 6 1 6 1 6	発注数量 出荷数量 2.0 2.0 6.0 6.0 6.0 6.0	受領数量 受領か-2数 0.0 0 6.0 6 6.0 6 6.0	原単価 売単価 300.00 500 200.00 333 100.00 166	受領原価受領売価	金額 金額 0 0 0 0 0 0 0 0	4
商品コード 0000000116 ショウヒン1 0000000213 ショウヒン2 0000000310 ショウヒン3 0000000418	取引先商品コート [*] 商品名・規格 1234567890116 1234567890213 1234567890310 1234567890310		行 1 2 3 4	ラインコード クラスコード 820 1901 820 1901 820 1901 820	サイズ	入数 彩注5-3数 1 2 1 6 1 6 1 6 1	発注数量 出荷数量 2.0 2.0 6.0 6.0 6.0 1.0	受領数量 受領か-2数 0.0 0 60 6 6 6 6 1.0	原単価 売単価 300.00 500 200.00 333 100.00 166 400.00	受領原価受領売価	金額 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
商品コード 0000000116 ショウヒン1 0000000213 ショウヒン2 0000000310 ショウヒン3 0000000418 ショウヒン4	取引先商品コート[*]商品名・規格 1234567890116 1234567890213 1234567890310 1234567890310		行 1 2 3 4	ラインコード クラスコード 820 1901 820 1901 820 1901 820 1901	サイズ	入数 彩注9-2数 1 2 1 6 1 6 1 6 1 1 1	発注数量 出荷数量 2.0 2.0 6.0 6.0 6.0 1.0 1.0	受領数量 受領か-2数 0.0 0 6.0 6 6 6 1.0 1 1	原単価 売単価 300.00 500 200.00 333 100.00 166 400.00 666	受領原価受領売価	金額 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
商品コード 0000000116 ショウヒン1 0000000213 ショウヒン2 0000000310 ショウヒン3 0000000418 ショウヒン4	取引先商品コート[©]商品名・規格 1234567890116 1234567890213 1234567890310 1234567890418		行 1 2 3 4	ラインコード クラスコード 820 1901 820 1901 820 1901 820 1901	サイズ	入数 彩注5-2数 1 2 1 6 1 6 1 1 1	発注数量 出荷数量 2.0 2.0 6.0 6.0 6.0 1.0 1.0	受領数量 受領かス数 0.0 0 6.0 6 6 1.0 1.0 1	原単価 売単価 300.00 200.00 200.00 333 100.00 166 400.00 666	受領原価	金額 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
商品コード 0000000116 ショウヒン1 000000213 ショウヒン2 0000000310 ショウヒン3 0000000418 ショウヒン4	取引先商品コート[*] 商品名・規格 1234567890116 1234567890213 1234567890310 1234567890310		行 1 2 3 3 4	ラインコード クラスコード 820 1901 820 1901 820 1901 820 1901	サイズ	入数 彩注9-2数 1 2 1 6 1 6 1 1 1	発注数量 出荷数量 2.0 2.0 6.0 6.0 6.0 6.0 1.0 1.0	受領数量 受領ケ-3数 0.0 6.0 6 6 6 1.0 1 1	原単価 売単価 300.00 200.00 333 100.00 166 400.00 666	受領原価	金額 金額 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
商品コード 0000000116 ショウヒン1 000000213 ショウヒン2 0000000310 ショウヒン3 0000000418 ショウヒン4	取引先商品コート[*] 商品名・規格 1234567890116 1234567890213 1234567890310 1234567890418		行 1 2 3 4	ラインコード クラスコード 820 1901 820 1901 820 1901 820 1901	サイズ	入数 彩注ケ-2数 1 2 1 6 1 6 1 1 1	発注教量 出荷数量 2.0 2.0 6.0 6.0 6.0 6.0 6.0 1.0 1.0	受領数量 受領ケ-2数 0.0 6.0 6 6 6 6 1.0 1 1	原単価 売単価 300.00 200.00 200.00 333 100.00 166 400.00 666	受領原価	金額 金額 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	

画面操作方法

◆受領データを確認する

①.[受領返品一覧]画面で選択した「取引番号」の受領データを確認します

画面名 受領明細画面								
機能一覧								
機能名称	機能説明							
閉じるボタン ※①メニューボタン	 ・当該画面を終了し、[受領返品一覧]画面に戻ります 							
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・ 押下可能の状態							
取引番号コンボボックス ※②取引番号	・『④取引明細』に『伝票番号』コンボボックスで選択された値に該当する画面を表示します ※該当データが表示件数(6行)以上存在した時、「④取引明細」にスクロールバーを表示します							
	初期表示状態 ・[受領返品一覧]画面で選択した取引番号を表示し、入力/選択不可の状態になります							
取引情報 ※③取引情報	初期表示状態 ・入力・選択された伝票番号に該当する伝票ヘッダデータを表示します							
取引明細 ※④取引明細	初期表示状態 ・入力・選択された伝票番号に該当する伝票明細データを表示します							

画面名 受領明	月細画面
表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・受領データ
表示並び順	取引明細情報 行(昇順) ※④取引明細

画面	名	受領明細画面]					
画面功	頁目内容										
Nie	表示	ケイトリタ	まつ内容(PMC項日夕)	# 1	最大相	行数	キテドナ		入;	<u>ታ</u>	供 来
INO	ク゛ルーフ゜	ダイトル名	表示內谷(BMS項日名)	坐	整数	小数	衣示形式	形式	必須	チェック	1111 / 1111 / 1111
1	②取引番号	伝票番号	取引番号	半角文字	10			不可			
2	③取引情報	店舗⊐−ド	最終納品先コード	半角文字	13			不可			
3	③取引情報	店舗名	最終納品先名称	全角文字	20			不可			
4	③取引情報	直接納品先コード	直接納品先コード	半角文字	13			不可			
5	③取引情報	直接納品先名称	直接納品先名称	全角文字	20			不可			
6	③取引情報	不定貫区分	不定貫区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:定貫 01:不定貫
7	③取引情報	納品経路	納品経路	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:店舗直納 02:センター納品
8	③取引情報	便No	便No	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:無指定 01~03:1便~3便
9	③取引情報	発注者コード	発注者コード	半角文字	13			不可			
10	③取引情報	発注者名称	発注者名称	全角文字	20			不可			
11	③取引情報	支払法人コード	支払法人コード	半角文字	13			不可			
12	③取引情報	取引先コード	取引先コード	半角文字	13			不可			
13	③取引情報	取引先名称	取引先名称	全角文字	20			不可			
14	③取引情報	請求取引先コード	請求取引先コード	半角文字	13			不可			
15	③取引情報	請求取引先名称	請求取引先名称	全角文字	20			不可			
16	③取引情報	DPT⊐−ド	商品分類(大)	半角文字	10			不可			
17	③取引情報	発注日	発注日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
18	③取引情報	直接納品日	直接納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
19	③取引情報	店舗納品日	最終納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
20	③取引情報	訂正直接納品日	訂正後直接納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
21	③取引情報	訂正店舗納品日	訂正後最終納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
22	③取引情報	計上日	計上日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
23	③取引情報	商品区分	商品区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:定番 02:準特価(中目) 03:特売(チラシ)
24	④取引明細	発注区分	発注区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:本部(計画)発注 02:店舗(追加)発注 03:センター発注
25	④取引明細	発注区分名称	ラベル自由使用欄半角カナ(印字用)	半角文字	60			不可			
26	④取引明細	税区分	税区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:原売価内税 03:非課税 05:原価外税売価外税
27	④取引明細	税率	税率	数値	2	1	Z9.9	不可			

NL	表示	与人口及		Ŧ	最大棒	行数	キニャチ		入	Ъ	/# *
INO	ク゛ルーフ゜	ダイトル名	表示内谷(BMS項日石)	<u>坐</u>	整数	小数	衣示形式	形式	必須	チェック	佣方
28	④取引明細	修正文字	ラベル自由使用欄(印字用)	全角文字	60			不可			
29	④取引明細	EOS区分	EOS区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:EOS発注 02:非EOS発注
30	③取引情報	伝票区分	処理種別	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:発注仕入
31	④取引明細	店舗略称	最終納品先略称(印字用)	全角文字	5			不可			
32	④取引明細	商品コード	商品コード(発注用)	半角文字	14			不可			
33	④取引明細	取引先商品コード	商品コード(取引先)	半角文字	14			不可			
34	④取引明細	商品名·規格	商品名	全角文字	25			不可			
35	④取引明細	行	取引明細番号(発注·返品)	半角文字	4			不可			
36	④取引明細	ラインコート	商品分類(小)	半角文字	10			不可			
37	④取引明細	クラスコート゛	商品分類(細)	半角文字	10			不可			
38	④取引明細	カラー	カラー名称	全角文字	20			不可			
39	④取引明細	サイズ	サイズ名称	全角文字	30			不可			
40	④取引明細	入数	発注単位	数値	4	0	Z,ZZ9	不可			
41	④取引明細	発注ケース数	発注数量(発注単位数)	数值	6	0	ZZZ,ZZ9	不可			
42	④取引明細	発注数量	発注数量(バラ)	数值	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
43	④取引明細	出荷数量	出荷数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
44	④取引明細	受領数量	受領数量(バラ)	数值	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
45	④取引明細	受領ケース数	受領数量(発注単位数)	数值	6	0	ZZZ,ZZ9	不可			
46	④取引明細	原単価	原単価	数値	8	2	ZZ,ZZZ,ZZ9.99	不可			
47	④取引明細	売単価	売単価	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
48	④取引明細	受領原価金額	原価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
49	④取引明細	受領売価金額	売価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
				合計	表示						
50	④取引明細	数量合計	数量合計	数値	6	0	ZZZ,ZZ9	不可			
51	④取引明細	原価金額合計	原価金額合計	数值	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
52	④取引明細	売価金額合計	売価金額合計	数值	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			

画面名 返品明細画面

|返品データを返品明細画面で確認します

画面内容



画面操作方法

◆返品データを確認する

①.[受領返品一覧]画面で選択した「伝票番号」の返品データを確認します

画面名 返品明細画面								
機能一覧								
機能名称	機能説明							
閉じるボタン ※①メニューボタン	 ・当該画面を終了し、[受領返品一覧]画面に戻ります 							
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態							
取引番号コンボボックス ※②取引番号	・『④取引明細』に『伝票番号』コンボボックスで選択された値に該当する画面を表示します ※該当データが表示件数(6行)以上存在した時、「④取引明細」にスクロールバーを表示します							
	初期表示状態 ・[受領返品一覧]画面で選択した取引番号を表示し、入力/選択不可の状態になります							
取引情報 ※③取引情報	初期表示状態 ・入力・選択された取引番号に該当する伝票ヘッダデータを表示します							
取引明細 ※④取引明細	初期表示状態 ・入力・選択された伝票番号に該当する伝票明細データを表示します							

画面名 返品明	月細画面
表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・返品データ
表示並び順	取引明細情報 行(昇順) ※④取引明細 行(昇順)

画面	名	返品明細画面									
画面耳	頁目内容										
No	表示	タイトルタ	表示内容(BMS項日名)	刑	最大梢	ī数	홍규판국		入	л	
INO	ク゛ルーフ゜	לאיזייע		Ξ	整数	小数	衣 小形式	形式	必須	チェック	1冊 15
1	②取引番号	伝票番号	取引番号	半角文字	10			不可			
2	③取引情報	店舗コード	最終納品先コード	半角文字	13			不可			
3	③取引情報	店舗名	最終納品先名称	全角文字	20			不可			
4	③取引情報	直接納品先⊐−ド	直接納品先コード	半角文字	13			不可			
5	③取引情報	直接納品先名	直接納品先名称	全角文字	20			不可			
6	③取引情報	不定貫区分	不定貫区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:定貫 01:不定貫
7	③取引情報	発注者コード	発注者コード	半角文字	13			不可			
8	③取引情報	発注者名称	発注者名称	全角文字	20			不可			
9	③取引情報	支払法人コード	支払法人コード	半角文字	13			不可			
10	③取引情報	取引先コード	取引先コード	半角文字	13			不可			
11	③取引情報	取引先名称	取引先名称	全角文字	20			不可			
12	③取引情報	請求取引先コード	請求取引先コード	半角文字	13			不可			
13	③取引情報	請求取引先名称	請求取引先名称	全角文字	20			不可			
14	③取引情報	DPT⊐ード	商品分類(大)	半角文字	10			不可			
15	③取引情報	計上日	計上日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
16	③取引情報	商品区分	商品区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:定番 02:準特価(中目) 03:特売(チラシ)
17	③取引情報	税区分	税区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:原売価内税 03:非課税 05:原価外税売価外税
18	③取引情報	税率	税率	数値	2	1	Z9.9	不可			
19	③取引情報	商品移動区分	商品移動区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:商品移動有り 02:商品移動無し
20	③取引情報	伝票区分	処理種別	半角文字	2			不可			以下に従い出力 02:返品
21	③取引情報	商品コード	商品コード(発注用)	半角文字	14			不可			
22	④取引明細	取引先商品コード	商品コード(取引先)	半角文字	14			不可			
23	④取引明細	商品名·規格	商品名	全角文字	25			不可			
24	④取引明細	行	取引明細番号(発注·返品)	半角文字	4			不可			
25	④取引明細	ラインコート゛	商品分類(小)	半角文字	10			不可			
26	④取引明細	クラスコート゛	商品分類(細)	半角文字	10			不可			
27	④取引明細	カラー	カラー名称	全角文字	20			不可			
28	④取引明細	サイズ	サイズ名称	全角文字	30			不可			

Ne	表示	ケイトルタ	表示中容(PMS項日名)	开山	最大桁数		キードル		入	カ	備老
INO	ク゛ルーフ゜	21522	衣小内谷(DIMS項日石)	<u> </u>	整数	小数	衣小形式	形式	必須	チェック	順方
29	④取引明細	返品理由区分	返品・値引理由コード	半角文字	3			不可			以下に従い出力 001:注文外 002:不良品 003:委託 004:その他
30	④取引明細	返品数量	返品数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
31	④取引明細	原単価	原単価	数値	8	2	ZZ,ZZZ,ZZ9.99	不可			
32	④取引明細	売単価	売単価	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
33	④取引明細	原価金額	原価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
34	④取引明細	売価金額	売価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
35	④取引明細	原価金額合計	原価金額合計	数值	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
36	④取引明細	売価金額合計	売価金額合計	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			

画面名 受領返品差異確認一覧画面

送信した出荷データと、受信した受領データ・返品データとの差異を一覧画面で確認します

画面内容



画面名 受領返品差異確認一覧画面

画面操作方法

◆出荷データ、受領データ、返品データの差異を確認する

①『対象期間』に表示対象の計上日を入力します

②『検索』ボタンを押すことで、「差異確認一覧」に指定した「対象期間」のデータが表示されます

③「差異確認一覧」に表示したデータを絞り込むには、「絞込条件」を指定します

④『詳細』ボタンを押すことで、受領返品差異確認明細画面を開きます

画面名 受領返品差異確認一覧画面

機能一覧				
機能名称	機能説明			
閉じるボタン ※①メニューボタン	 ・当該画面を終了し、受領/返品業務画面に戻ります 			
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態			
検索ボタン ※①メニューボタン	 ・「②対象期間」の『計上日』を条件に、「③絞込条件」内のコンボボックスを再作成、「④確認一覧」に該当データを表示します ※『検索』ボタン押下時に、「③絞込条件」内のコンボボックスに入力/選択されていた値をクリアします ※該当データが表示件数(15行)以上存在した時、「④確認一覧」にスクロールバーを表示します ・「④確認一覧」の表示対象データ内で、出荷データ、受領データのどちらかに、同一取引番号のデータが複数存在した場合、警告メッセージを表示し、何もしないで、元の状態に戻ります ※『計上日』に入力した値は保持します 			
	 ・出荷データには「計上日」項目がないため、「店舗納品日」(最終納品先納品日)で検索を行います ・加朗吉二平音 			
	が別表示な態 ・ 押下可能の状態			
対象期間 ※②対象期間	・『計上日』の条件は、以下のような指定が可能です 1.「"~"の左にあるコンボボックス指定」「"~"の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒ 左のコンボボックスで指定した値以降全てを検索対象とします 2.「"~"の左にあるコンボボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス指定」 ⇒ 右のコンボボックスで指定した値以前全てを検索対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス指定」「"~"の右にあるコンボボックス指定」 ⇒ 左右のコンボボックスで指定した範囲内を検索対象とします			
	初期表示状態 ・左右の『計上日』テキストボックスにシステム日付を表示 ・『計上日』テキストボックスが入力可能の状態 ・『検索』ボタン押下可能の状態			
絞込条件 ※③絞込条件	 ・「④確認一覧」に表示されたデータを絞込ます ※「④確認一覧」にデータが表示されている状態でのみ指定可能です ※各条件コンボボックスで選択した値全てをAND条件とし『差異確認一覧』の絞込を行いますが、各条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード:名称」で重複判断を行います ただし、絞込処理は「コード」のみで行うため、選択した「コード:名称」のデータのみを表示することはできません ・出荷データには「計上日」項目がないため、「店舗納品日」(最終納品先納品日)で検索を行います 			
	初期衣示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態			

关田 赤冠 殿
差要唯認一頁
义(小难汉—訾
不过 肥心 見

 ・「②対象期間」「③絞 ・『詳細』ボタンを押下 ・「差異区分」は以下の ★キー項目 出荷データ: 受領データ: 返品データ: 	ジ条件」で指定した条件に該当するデータを表示します することで、出荷/受領/返品明細画面を開きます Dキー項目によって、以下データ種の差異を判定します 「発注者コード」「取引先コード」「伝票番号」「最終納品先納品日」 「発注者コード」「取引先コード」「伝票番号」「計上日」 「発注者コード」「取引先コード」「伝票番号」「計上日」			
★対象データ種 出荷データ(設 ※受領データ ・受領デー (受領デ・	き信済)、受領データ、返品データ は上記キーによってサマリーした結果を画面に表示します タはプラスとしてサマリーします ータは、数量等の数値項目は全てプラスでデータベースに格納されています)			
※返品データ ・返品デー	は上記キーによってサマリーした結果を画面に表示します -タはプラスとしてサマリーします			
★差異区分種類 ※以下、出荷は送信済み出荷データを指すものとし、受領は受領データをサマリーした結果を、 返品は返品データをサマリーした結果を指すものとします				
0:一致	:出荷データと受領/返品データの「原価金額合計」が一致している状態 ⇒全項目黒字で表示します 【以下のパターンに該当する場合、「0:一致」になります】 出荷 = 受領 (返品データがない場合) 出荷 = 受領+返品 (全データ種がある場合) 出荷 = 返品 (受領データがない場合)			
1:出荷のみ	:出荷データに対する受領/返品データが存在しない状態 ⇒出荷データ項目は全て赤字で表示します 【以下のパターンに該当する場合、「1:出荷のみ」になります】 出荷あり、受領なし、返品なし			
2:受領のみ	 :受領データに対する出荷データが存在しない状態 ※返品データが存在しても、当状態になります ⇒受領/返品データ項目は全て赤字で表示します 【以下のパターンに該当する場合、「2:受領のみ」になります】 出荷なし、受領あり、返品なし 出荷なし、受領あり、返品あり 			
3:返品のみ	:返品データに対する出荷、受領データが存在しない状態 ⇒返品データ項目は全て赤字で表示します 【以下のパターンに該当する場合、「3:返品のみ」になります】 出荷なし、受領なし、返品あり			
4:差異あり	 :出荷データと受領/返品データの「原価金額合計」が異なっている状態 ⇒差異がある項目を赤字で表示します 【以下のパターンに該当する場合、「4:差異あり」になります】 出荷 ≠ 受領 山荷 ≠ 受領 (返品データがない場合) 出荷 ≠ 返品 (受領データがない場合) 			

]

画面名 受領返品差異確認一覧画面				
表示対象データ	当画面表示対象ラ ・送信済み出荷 ・受領データ ・返品データ	ータは以下のデータになります データ		
表示並び順	差異確認一覧 ※④確認一覧	伝票番号[取引番号]>発注者コード>取引先コード		
	伝票番号 ※③絞込条件	伝票番号[取引番号](昇順)		
	発注者 ※③絞込条件	発注者コード(昇順)		
	取引先 ※③絞込条件	取引先コード(昇順)		
	店舗 ※③絞込条件	店舗コード[最終納品先コード](昇順)		
	差異区分 ※③絞込条件	差異区分(昇順) ※「0:一致」「1:出荷のみ」「2:受領のみ」「3:返品のみ」「4:差異あり」の順		
画面名 受領返品差異確認一覧画面

画面項目内容											
Na	表示	ケイトルタ	まテ 巾 宓(₽МС頂日夕)	申	最大梢	ī数	サイビル		入	Ъ	供来
INO	ク゛ルーフ゜	ダイトル名	表示内容(BMS項日石)	空	整数	小数	衣小形式	形式	必須	チェック	加行
1	②対象期間	計上日(左)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	入力	*	日付チェック	左右どちらか入力必須
2	②対象期間	計上日(右)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	入力	*	日付チェック	左右どちらか入力必須
3	③絞込条件	伝票番号	取引番号	半角文字	10			入力/選択		半角数字のみ	
4	③絞込条件	発注者	発注者コード/ 発注者名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
5	③絞込条件	取引先	取引先⊐ード/ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
6	③絞込条件	店舗	最終納品先⊐ード/ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
7	③絞込条件	差異区分	該当データの差異を「0:一致」「1:出 荷のみ」「2:受領のみ」「3:返品のみ」 「4:差異あり」で表示する	全角文字				選択			以下に従い表示 0:一致 1:出荷のみ 2:受領のみ 3:返品のみ 4:差異あり
8	④確認一覧	伝票番号	取引番号	半角文字	10			不可			
9	④確認一覧	計上日	計上日/最終納品先納品日(出荷)	日付	8		YYYYMMDD	不可			
10	④確認一覧	発注者	発注者コード/ 発注者名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
11	④確認一覧	取引先	┃取引先⊐ード/ ┃取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
12	④確認一覧	店舗	最終納品先⊐ード/ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
13	④確認一覧	直接納品先	直接納品先⊐ード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
14	④確認一覧	出荷原価金額計	原価金額合計(出荷)	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
15	④確認一覧	受領原価金額計	原価金額合計(受領)	数值	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
16	④確認一覧	返品原価金額計	原価金額合計(返品)	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
17	④確認一覧	差異区分	該当データの差異を「0:一致」「1:出 荷のみ」「2:受領のみ」「3:返品のみ」 「4:差異あり」で表示する	全角文字				不可			以下に従い表示 0:一致 1:出荷のみ 2:受領のみ 3:返品のみ 4:差異あり

画面名 受領返品差異確認明細画面

送信した出荷データと、受信した受領、返品データとの差異を明細画面で確認します

画面内容



画面操作方法

◆出荷データ、受領データ、返品データの差異を明細画面で確認する ①.[受領返品差異確認一覧]画面で選択した「伝票番号」のデータを確認します

画面名 受領返品差異確認明細画面

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	 ・当該画面を終了し、[受領返品差異確認一覧]画面に戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態
取引番号コンボボックス ※②取引番号	・「③取引情報」「④取引明細情報」に『伝票番号』コンボボックスで選択された値に該当する画面を表示します ※該当データが表示件数(6行)以上存在した時、「④取引明細」にスクロールバーを表示します
	初期表示状態 ・[受領返品差異確認一覧]画面で選択した伝票番号を表示し、入力/選択不可の状態になります
取引情報 ※③取引情報	 初期表示状態 ・ (受領返品差異確認一覧)画面で選択した伝票番号の伝票ヘッダデータを表示します ・ 全項目入力/選択不可の状態 ・ 表示対象データが複数あった場合、[受領返品差異確認一覧]画面の「差異区分」に応じて以下のようにデータを取得し画面表示します ★表示元データ 「差異区分」が「0:一致」の場合 ⇒ "受領データ"を元に全項目を表示します 「1:出荷のみ」の場合 ⇒ "出荷データ"を元に全項目を表示します 「2:受領のみ」の場合 ⇒ "受領データ"を元に全項目を表示します 「3:返品のみ」の場合 ⇒ "返品データ"を元に全項目を表示します 「4:差異あり」の場合 ⇒ "受領データ"がある場合は、"受領データ"を元に全項目を表示します
取引明細情報 ※④取引明細	 初期表示状態 ・(受領返品差異確認一覧]画面で選択した取引番号の伝票明細データを表示します ・全項目入力/選択不可の状態 ・表示対象データが複数あった場合、[受領返品差異確認一覧]画面の「差異区分」に応じて以下のようにデータを取得し画面表示します ★表示元データ 「差異区分」が「0:一致」の場合 ⇒ 「商品名」等の各データ共通項目は"受領データ"を元に表示します 「1:出荷のみ」の場合 ⇒ "出荷データ"を元に全項目を表示します 「2:受領のみ」の場合 ⇒ "受領データ"を元に全項目を表示します 「3:返品のみ」の場合 ⇒ "受領データ"がある場合は、「商品名」等の各データ共通項目は"受領データ"を元に表示します ・以下項目に差異がある場合、該当の項目全てを赤字で表示します ・以下項目に差異がある場合、該当の項目全てを赤字で表示します ・以下項目に差異がある場合、該当の項目全てを赤字で表示します ・以下項目に差異がある場合、該当の項目全てを赤字で表示します ・以下項目に差異がある場合、該当の項目全てを赤字で表示します ・以下項目に差異がある場合、該当の項目全てを赤字で表示します ・以下項目に差異がある場合、該当の項目全てを赤字で表示します

画面名 受領逃	Z品差異確認明細画面
表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・送信済み出荷データ ・受領データ ・返品データ
表示並び順	取引明細情報 行(昇順) ※④取引明細 7000000000000000000000000000000000000

画面名 受領返品差異確認明細画面

画面項	<u>面項目内容</u>										
No	表示	友子と山夕		刑	最大桁	ī数	まテ形式		入	Ъ	供 去
NO	ク゛ルーフ゜	91170 1	衣小内谷(BM/3項日石)	Ξ	整数	小数	衣 小形式	形式	必須	チェック	加力
1	②取引番号	伝票番号	取引番号	半角文字	10			不可			
2	③取引情報	店舗コード	最終納品先コード	半角文字	13			不可			
3	③取引情報	店舗名	最終納品先名称	全角文字	20			不可			
4	③取引情報	直接納品先コード	直接納品先コード	半角文字	13			不可			
5	③取引情報	直接納品先名	直接納品先名称	全角文字	20			不可			
6	③取引情報	不定貫区分	不定貫区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:定貫 01:不定貫
7	③取引情報	納品経路	納品経路	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:店舗直納 02:センター納品
8	③取引情報	便No	便No	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:無指定 01~03:1便~3便
9	③取引情報	発注者コート	発注者コード	半角文字	13			不可			
10	③取引情報	発注者名称	発注者名称	全角文字	20			不可			
11	③取引情報	支払法人コード	支払法人コード	半角文字	13			不可			
12	③取引情報	取引先コード	取引先コード	半角文字	13			不可			
13	③取引情報	取引先名称	取引先名称	全角文字	20			不可			
14	③取引情報	請求取引先コード	請求取引先コード	半角文字	13			不可			
15	③取引情報	請求取引先名称	請求取引先名称	全角文字	20			不可			
16	③取引情報	DPT⊐−ド	商品分類(大)	半角文字	10			不可			
17	③取引情報	発注日	発注日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
18	③取引情報	直接納品日	直接納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
19	③取引情報	店舗納品日	最終納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
20	③取引情報	計上日	計上日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
21	③取引情報	商品区分	商品区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:定番 02:準特価(中目) 03:特売(チラシ)
22	③取引情報	発注区分	発注区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:本部(計画)発注 02:店舗(追加)発注 03:センター発注
23	③取引情報	EOS区分	EOS区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:EOS発注 02:非EOS発注
24	③取引情報	税区分	税区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:原売価内税 03:非課税 05:原価外税売価外税
25	③取引情報	税率	税率	数值	2	1	Z9.9	不可			
26	④取引明細	商品コード	商品コード(発注用)	半角文字	14			不可	I T		

Na	表示		まテロ窓(PMC項日名)	刑	最大林	行数	キードナ	まテ形式		カ	供来
INO	ク゛ルーフ゜	ダイトル名	表示内谷(BMS項日石)		整数	小数	衣小形式	形式	必須	チェック	加方
27	④取引明細	取引先商品コード	商品コード(取引先)	半角文字	14			不可			
28	④取引明細	商品名·規格	商品名	全角文字	25			不可			
29	④取引明細	行	取引明細番号(発注·返品)	半角文字	4			不可			
30	④取引明細	ラインコート	商品分類(小)	半角文字	10			不可			
31	④取引明細	クラスコート゛	商品分類(細)	半角文字	10			不可			
32	④取引明細	カラー	カラー名称	全角文字	20			不可			
33	④取引明細	サイズ	サイズ名称	全角文字	30			不可			
34	④取引明細	入数	発注単位	数値	3	1	ZZ9.9	不可			
35	④取引明細	出荷原価金額	原価金額(出荷)	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
36	④取引明細	受領原価金額	原価金額(受領)	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
37	④取引明細	返品原価金額	原価金額(返品)	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
38	④取引明細	出荷数量	出荷数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
39	④取引明細	受領数量	受領数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
40	④取引明細	返品数量	返品数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
				合計	表示						-
41	④取引明細	出荷原価金額合計	原価金額合計(出荷)	数值	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
42	④取引明細	受領原価金額合計	原価金額合計(受領)	数值	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
43	④取引明細	返品原価金額合計	原価金額合計(返品)	数值	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			

|受領受信ブルーフリスト・返品受信ブルーフリストの出力を行います

画面内容



画面操作方法

◆各種帳票の出力をする

①出力を行う帳票を選択します ②出力条件を入力、選択します ③出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	 ・当該画面を終了し、受領/返品業務画面に戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・ 押下可能の状態
プレビューボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」にて指定した条件で出力される帳票のプレビュー画面を表示します ・プレビュー画面から当該帳票を直接出力することもできます 初期表示状態
	・押下可能の状態
印刷ボタン ※①メニューボタン	・「②出力帳票」「③出力条件」にて指定した条件で帳票を出力します
★F5ボタンで利用可能	初期表示状態 ・ 押下可能の状態
出力帳票 ※②出力帳票	・ラジオボタンにて選択した帳票を、『印刷』ボタン・『プレビュー』ボタンにて処理します ・ラジオボタンを変更した場合、「③出力条件」の全てのコンボボックスをクリアします
	初期表示状態 ・『受領受信プルーフリスト』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『受領受信プルーフリスト』『返品受信プルーフリスト』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	 ・「③出力条件」内テキストボックス、コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、帳票出力対象データを絞り込みます ※『店舗』は「店舗コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス、テキストボックスの間に"~"があるコンボボックス、テキストボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「"~"の左にあるコンボボックス、テキストボックス指定」「"~"の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒左のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「"~"の左にあるコンボボックス、テキストボックスを指定」「"~"の右にあるコンボボックス、テキストボックス指定」 ⇒右のコンボボックス、テキストボックスを指定した値以前全てを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」["~"の右にあるコンボボックス、テキストボックス指定」 ⇒右のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒右のコンボボックス、テキストボックスで指定」た値以前全てを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」
	1 ²⁰⁷ 743小公園 ・各条件が入力/選択可能な状態

画面名 プル-	-フリスト出力画面	
表示対象データ	「③出力条件」の名 1.「②出力帳票」 ・受領データ 2.「②出力帳票」 ・返品データ	条件コンボボックスには、以下のデータを表示します(出力対象データも同様) 」にて『受領受信プルーフリスト』選択時 ! 」にて『返品受信プルーフリスト』選択時
表示並び順	受信日時(左) ※③出力条件 受信日時(右)	受信日(降順) 受信日(降順)
	※③五刀条件 計上日(左) ※③出力条件	計上日(降順)
	計上日(右) <u>※③出力条件</u>	
	店舗 <u>※③絞込条件</u>	最終納品先コード(昇順)
	直接納品先 <u>※③絞込条件</u>	直接納品先⊐ード(昇順)
	取引先 ※③絞込条件	取引先コード(昇順)

画面功	面項目内容。										
No	表示	タイトルタ	まテ内容(PMS項日名)	刑	最大権	行数	キテ形式		入:	ታ	供去
INO	ク゛ルーフ゜	ジョトル石	表示内谷(BIVIS項日石)	<u></u>	整数	小数	衣小形式	形式	必須	チェック	加方
			出力	条件(受領受信)	プルーフリ	スト選	択時)				
1	③出力条件	受信日時(左)	受信日(受領)	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	③出力条件	受信日時(右)	受信日(受領)	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	計上日(左)	計上日(受領)	日付	8		YYYYMMDD	選択			
4	③出力条件	計上日(右)	計上日(受領)	日付	8		YYYYMMDD	選択			
5	③出力条件	店舗	最終納品先コード(受領)/ 最終納品先名称(受領)	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
6	③出力条件	直接納品先	直接納品先コード(受領)/ 直接納品先名称(受領)	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
7	③出力条件	取引先	取引先コード(受領)/ 取引先名称(受領)	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
			出力	条件(返品受信)	プルーフリ	スト選	択時)				
8	③出力条件	受信日時(左)	受信日(返品)	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
9	③出力条件	受信日時(右)	受信日(返品)	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
10	③出力条件	計上日(左)	計上日(返品)	日付	8		YYYYMMDD	選択			
11	③出力条件	計上日(右)	計上日(返品)	日付	8		YYYYMMDD	選択			
12	③出力条件	店舗	最終納品先コード(返品)/ 最終納品先名称(返品)	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
13	③出力条件	直接納品先	直接納品先コード(返品)/ 直接納品先名称(返品)	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
14	③出力条件	取引先	取引先コード(返品)/ 取引先名称(返品)	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			

画面名 受領データファイル出力

|受領データの外部ファイル出力を行います

画面内容



画面操作方法

◆受領データをファイル出力する

①.出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
 ②.出力条件を各コンボボックス、テキストボックスにて指定します
 ③.出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
 ④.ファイル形式、出力条件、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名 受領データファイル出力

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	・当該画面を終了し、受領/返品業務画面に戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル出力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、該当画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します
	初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	 ・「③出力条件」内コンボボックス、テキストボックスにて選択/入力した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます ※『店舗』は「店舗コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス、テキストボックスの間に"~"があるコンボボックス、テキストボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「"~"の左にあるコンボボックス、テキストボックス指定」「"~"の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒左のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「"~"の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス、テキストボックスま指定」 ⇒左のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」」 ⇒全てのデータを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックスの回複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします
	初期表示状態 ・各条件が入力/選択可能な状態
出力ファイルパス ※④出力ファイルパス	・「②ファイル形式」「③出力条件」『出力ファイルパス』テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します
	・入力可能な状態
参照ボタン ※④出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力処理開始ボタン ※⑤出力処理開始	・「②ファイル形式」「③出力条件」「④出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「④出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします
	初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名 受領于	データファイル出力	
表示/ファイル 出力対象データ	「③出力条件」の名 ・受領データ	条件コンボボックスには、以下のデータを表示します(ファイル出力対象データも同様)
表示並び順	受信日時(左) ※③出力条件	受信日(降順)
	受信日時(右) ※③出力条件	受信日(降順)
	計上日(左) ※③出力条件	計上日(降順)
	計上日(右) ※③出力条件	計上日(降順)
	店舗 ※③絞込条件	最終納品先⊐−ド(昇順)
	直接納品先 ※③絞込条件	直接納品先⊐—ド(昇順)
	取引先 ※③絞込条件	取引先コード(昇順)

画面	名	受領データファイル出	לא]					
画面	頁目内容										
No	ま あ示 がループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	<u>最大林</u> 整数	行数 小数	表示形式		入 必須	力 チェック	備考
1	③出力条件	受信日時(左)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	③出力条件	受信日時(右)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	計上日(左)	計上日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			
4	③出力条件	計上日(右)	計上日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			
5	③出力条件	店舗	最終納品先コード/ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
6	③出力条件	直接納品先	直接納品先⊐ード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
7	③出力条件	取引先	取引先コード/ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
8	④出力ファイ ルパス	出力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	0		

画面名 返品データファイル出力

|返品データの外部ファイル出力を行います

画面内容



画面操作方法

◆返品データをファイル出力する

①.出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
 ②.出力条件を各コンボボックス、テキストボックスにて指定します
 ③.出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
 ④.ファイル形式、出力条件、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名 返品データファイル出力

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン	・当該画面を終了し、受領ノ返品業務画面に戻ります
※①メニューホック ★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル出力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、該当画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します
	初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	 ・「③出力条件」内コンボボックス、テキストボックスにて選択/入力した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます ※『店舗』は「店舗コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス、テキストボックスの間に"~"があるコンボボックス、テキストボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「"~"の左にあるコンボボックス、テキストボックス指定」「"~"の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒左のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「"~"の左にあるコンボボックス、テキストボックスで指定した値以降全でを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス、テキストボックス指定」 ⇒右のコンボボックス、テキストボックスを指定した値以降全でを出力対象とします 3.「"~"の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「"~"の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックスのの重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします
出力ファイルパス ※④出力ファイルパス	・各条件が入力/選択可能な状態
	次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※④出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力処理開始ボタン ※⑤出力処理開始	・「②ファイル形式」「③出力条件」「④出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「④出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします
	が別がないな感 ・ 押下可能な状態

画面名 返品 :	データファイル出力	
表示/ファイル 出力対象データ	「③出力条件」の名 ・返品データ	♪条件コンボボックスには、以下のデータを表示します(ファイル出力対象データも同様)
表示並び順	受信日時(左) ※③出力条件	受信日(降順)
	受信日時(右) ※③出力条件	受信日(降順)
	計上日(左) ※③出力条件	計上日(降順)
	計上日(右) ※③出力条件	計上日(降順)
	店舗 ※③絞込条件	最終納品先⊐−ド(昇順)
	直接納品先 ※③絞込条件	直接納品先⊐ード(昇順)
	取引先 ※③出力条件	取引先コード(昇順)

画面	画面名 返品データファイル出力										
画面	項目内容										
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	<u>最大</u> 材 整数	行数 小数	表示形式		入 必須	力 チェック	備考
	③出力条件	受信日時(左)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	2 ③出力条件	受信日時(右)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
:	3 ③出力条件	計上日(左)	計上日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			
4	1 ③出力条件	計上日(右)	計上日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			
ę	5 ③出力条件	店舗	最終納品先コード/ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
(3 ③出力条件	直接納品先	直接納品先⊐ード/ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
7	7 ③出力条件	取引先	取引先コード/ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
8	3 ④出力ファイ ルパス	出力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	0		

画面名 請求予定作成

|請求データ作成、編集、EDI外請求データ作成、編集を行います

画面内容



請求予定作成					
页(F2) (保存(F4) 取	し 2消(F9)				閉じる(F12)
	A 400 A -1				
能広禁件数計 粘請水		社コート			
社コード 伝	票件数計 請求金額合計	店舗 📃 店舗	i → 伝票件数計 ↓ 計	求金額合計 一覧 🔽	1
		-			
青求データ絞込条件					
請求フラグ区分 0:請求対象外	● 出力状態 0:未出力デー	- <mark>タ -</mark> 計上日	• ~	▶ 🗆 手動検索	40.±
社コード	店舗	★ 伝票番号	• ~	▼ 取得	便窯
, 青求データー覧					
EDI請求	EDI外請求	計上日は必ず指	定して請求データを作成し	てください	
対象 出力状態 計上日	- 社コード - 		請求金額		
データ区分 伝票番号	50 -1		25.000		
□ 1:受領 - 1111110	30		20,000		肖明余
	.		1		買用金
() () () () () () () () () ()					Hibb

画面名 請求予定作成

画面操作方法

◆請求データを作成する

①.『作成』ボタンを押します

- ②.EDI(オンライン)データの請求データを作成します
 - 1.EDI(オンライン)データから請求データを作成する場合は、「請求データ絞込条件」でEDIデータを絞り込みます

2.「請求データー覧」に表示された一覧から請求データに含めるデータにチェックをして『請求対象データを更新』ボタンを、

除外する場合はチェックを外し『請求対象データを更新』ボタンを押します

③.EDI外(非オンライン)データの請求データを作成します

1.EDI外(非オンライン)データから請求データを作成する場合は、「EDI外請求」ボタンを押下し、「請求データー覧」画面を切り替えます 2.作成する請求データを一覧に直接入力し、該当データを請求データに含める場合はチェックをして『請求対象データを更新』ボタンを、 除外する場合はチェックを外し『請求対象データを更新』ボタンを押します

④.『保存』ボタンを押し、作成した請求データを保存します

画面名 請求予定作成	
機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	 ・当該画面を終了し、請求/支払業務画面に戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・ 押下可能の状態
作成ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	 ・請求予定データの作成を開始します 当ボタンを押下することによって、画面を以下の状態にします 作成ボタン ⇒ 押下不可な状態 保存ボタン ⇒ 押下可能な状態 取消ボタン ⇒ 押下可能な状態 閉じるボタン ⇒ 押下可能な状態 閉じるボタン ⇒ 押下可能な状態 (2)サマリ情報」 ⇒ 既に請求対象データに追加されているデータのサマリ情報を表示 「③絞込条件」 ⇒ 選択可能な状態 「④請求一覧」 ⇒ 「③絞込条件」で選択されている条件に見合ったデータを表示 ※EDI請求ボタンが押された状態の画面になります ※請求対象に既に追加されているデータにはチェックを、追加されていないデータはチェックを外した状態になります ※請求内容項目は、既に請求ファイル出力済のデータは"出力済"、請求ファイル未出力のデータは"未出力"と表示します
	初期表示状態 ・ 押下可能の状態 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	・「④請求一覧」内で『請求対象データを更新』を行ったデータを保存します ※請求対象データに追加していないEDI外請求データも保存されます ・データの保存後、画面を初期表示時に戻します
	初期表示状態 ・押下不可な状態 ※『作成開始』ボタンを押下することによって、押下可能な状態になります
取消ボタン ※①メニューボタン ★F9ボタンで利用可能	・「④請求一覧」内で『請求対象データを更新』を行ったデータを取り消し、画面を初期表示時に戻します ※初期表示時とは、「作成開始」ボタンが押下される前の状態です
	初期表示状態 ・押下不可な状態 ※『作成開始』ボタンを押下することによって、押下可能な状態になります

機能名称	機能説明
請求サマリ情報グループボックス	・「総伝票件数計」欄には、請求対象データに追加されているデータの合計を計算して表示します
※②サマリ情報	・「発注者」欄には、請求対象データに追加されているデータの発注者を一覧表示し、それぞれの発注者で作成された請求データの
	合計を計算して表示します
	↓・「発注者」欄の『表示』ボタンを押下することによって、「店舗」欄に該当発注者の店舗毎の合計を計算して表示します
	※「店舗」欄の上に、選択した発注者を「発注者コード:発注者名称」の形で表示します
	・「店舗」欄の『設定』ボタンを押下することによって、「③絞込条件」のコンボボックスを以下の状態にし、「④請求一覧」に該当データを表示します
	請求フラグ区分 ⇒ [0:請求対象外」が自動的に選択される
	出力状態 → 「0:未出力データ」が自動的に選択される
	計上日 → 目動的に空白が選択される
	発注者 → 該当の発注者が目動的に選択される
	店舗 → 該当の店舗が目動的に選択される
	取引番号 → 目動的に空白が選択される
	10/2015 (12) ・1総合事件教計1欄には、請求対象データに追加されているデータの合計を計算して表示します
	- 「発注者」欄には、請求対象データに追加されているデータの発注者を一覧表示し、それぞれの発注者で作成された請求データの
	合計を計算して表示します
	・「発注者」欄の『表示』ボタンを押下することによって、「店舗」欄に該当発注者の店舗毎の合計を計算して表示します
	※「店舗」欄の上に、選択した発注者を「発注者コード:発注者名称」の形で表示します
	※「店舗」欄の『設定』ボタンは押下不可の状態になります
請求データ絞込条件グループボックス	・全請求予定データから、絞込条件コンボボックスが作成されます
※③絞込条件	※以下のコンボボックスは請求データに関係なく、固定で作成されます
	請求フラク区分 ⇒ 固定で10:請求対象外」11:請求対象」2:両方」から選択が可能になります
	出力状態 → 回定で10:未出力テータ」1:出力済ナータ」2:全ナータ」から選択が可能になります
	・各コンホホックスを指定すると同時に、「④請來一覧」に表示されているアータか殺り込まれます ・Aコン・ドド・ケーク性がすいとなった。
	・各コンホホックスで指定した条件は全てAND条件となりますか、各コンホホックス間の殺込は行いません
	・選択不可の状態
	※『作成開始』ボタンを押下後、各コンボボックスは以下の状態になり、その状態に該当したデータが「④請求一覧」に表示されます
	請求フラグ区分 ⇒「0:請求対象外」が自動的に選択される
	出力状態 ⇒ 「0:未出力データ」が自動的に選択される
	┃ 計上日 → 自動的に空白が選択される
	│ 支払法人 → 自動的に空白が選択される
	│ 計上部署 → 自動的に空白が選択される
	│ 取引番号 → 自動的に空白が選択される

機能名称	機能説明
請求データー覧グループボックス	・「③絞込条件」で指定した条件に該当するデータを表示します
※④請求一覧	※請求対象データの行は"薄い黄色"、請求対象外データの行は"白色"で表示します
	・『一括してチェックする』ボタンを押下すると、一覧に表示されている全データの「対象」チェックボックスにチェックを入れます
	・『一括してチェックを外す』ボタンを押下すると、一覧に表示されている全データの「対象」チェックボックスからチェックを外します
	・『請求対象データを更新』ボタンを押下すると、チェックの付いているデータを請求対象データに追加、チェックの付いていないデータを
	請求対象データから除外します
	※『請求対象データを更新』ボタンを押下すると、「③絞込条件」で指定している条件で「④請求一覧」の再表示を行います
	※チェック、データの変更は「③絞込条件」の変更、『EDI請求』『EDI外請求』ボタンを押しても保持されます
	※一覧内でエラーが発生している場合、各画面のボタン、コンボボックスの動作は以下のようになります
	「①メニューボタン」
	保存ボタン → 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない
	取消ボタン → 押下可能な状態
	閉じるボタン → 押下可能な状態
	「②サマリ情報」
	● まっポタン → 押下可能な状態
	設定ボタン → 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない
	● ケーンボボックス → 変更された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない
	● 折してチェックするボタン → 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない
	一括してチェックを外すボタン ⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない
	請求対象データを再新 → 用下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない
	$\frac{1}{7}$
	★EDI請水ボダン押ト時
	・請水対象アーダでないアーダ(日色の行)は、以下の項目か訂正可能です
	請水金額 ツ湾本社会 ニーク(英い共会 みた)は封てぶ山 ホナルノ (封てたたき根ムは詰ませる ニークムと 吟は 後にたいナナ)
	※請氷刈家ナーダ(薄い夷巴の行)は訂正が田米ません(訂正を行う場合は請氷刈家ナーダから味外皮に行います)
	★EDI外請水ボダン押ト時
	[1] [1]
	*請求対象ナーダでないナーダ(日巴の行)は、以下の項目か訂正可能です。
	- アーダビガ、訂上口、広売省方、清水立観 - ※注意がある。 - A (茶)、花石である) はがておいます - A (話てたた) 見みは注意がある。 - A からぬる (にたいささ)
	※請氷刈家ナーダ(薄い東巴の行)は訂正か田米ません(訂正を行う場合は請氷刈家ナーダから除外後に行います) ※訂エメロマナスナム、他な、の話エキなデュールはまささい。
	※訂正か元] 9 るまで、他行の訂正を行うことはできません ※訂述ないていた。コームキャンサーにとなてまたはつくれた。
	(次該当行からノオーガスを期かりことで訂正が元」となります 【#URA
	*請水対象アーダでないアーダ(日巴の行)にめる『削除』ボダンを押下すると、該当行か一覧から削除されます。
	※請氷対象ナーダ(薄い東巴の行)にあるII削除IIボダンは押トすることかでさませんので、請氷対象ナーダから除外後に削除を行ってくたさい ※請氷ガにローニー」がよりませいのがTTTLはマキナナ
	※該当行にエフーかめつに場合も削除することかできます #** ##
	*初放入力時は、『行追加』ボダンを押下することで、一見の一番下に空日行が追加されます
	該当行からフォーカ人を動かすことで入力は元子となります。
	※ 行追加」ボダン押下後は、新規行の人力が元子、もしくは削除されるまで、他の行を編集することはでさません
	初期表示状態
	・データ非表示の状態
	・各ボタンは押下不可の状態

機能名称	機能説明
EDI請求ボタン	・「④請求一覧」の表示項目を切り替えます
※④請求一覧	※切り替える前に訂正した値は保持します
	初期表示状態 ・押下不可の状態
EDI外請求ボタン ※④請求一覧	・「④請求一覧」の表示項目を切り替えます ※切り替える前に訂正した値は保持します
	初期表示状態 ・押下不可の状態

画面名 請求	予定作成	
表示対象データ	「④絞込条件」の名 ・請求予定デー	各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します(表示対象データも同様) タ
表示並び順	計上日(右) ※④絞込条件	計上日(降順)
	計上日(左) ※④絞込条件	計上日(降順)
	社コード ※④絞込条件	支払法人⊐−ド(昇順)
	店舗 <u>※④絞込条件</u>	計上部署コード(昇順)
	伝票番号(右) <u>※④絞込条件</u>	取引番号(昇順)
	伝票番号(左) <u>※④絞込条件</u>	取引番号(昇順)
	社コード欄 <u>※③サマリ情報</u>	支払法人⊐−ド(昇順)
	店舗欄 <u>※③サマリ情報</u>	計上部署コード(昇順)
	請求データー覧 ※⑤請求一覧	計上日(降順)>伝票番号>支払法人コード>計上部署コード

画面名		請求予定作成]					
画面項目内容	画面項目内容										
	:	与人口及		ŦIJ	最大棒	行数	== <u></u> <u></u> +		入	.力	() () () () () () () () () () () () () (
NO グルー	7°	ダイトル名	表示内容(BMS項日名)	坐	整数	小数	衣示形式	形式	必須	チェック	1佣
1 ②明細ち	ナマリ	総伝票件数計	作成済み請求データの伝票件数合計	数値	9		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
22明細ち	ナマリ	総請求金額合計	作成済み請求データの請求金額合計	数值	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
32明細ち	ナマリ		支払法人コード	半角文字	13			不可			
4 ②明細ち	ナマリ	伝祟件数計 ※支払法人	支払法人コード毎の伝票件数合計	数値	9		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
5 ②明細ち	ナマリ	請求金額合計	支払法人コード毎の請求金額合計	数値	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
6②明細ち	ナマリ	店舗	計上部署コード/ 計上部署名称カナ	半角文字/ 半角文字	13/20			不可			
7②明細ち	ナマリ	伝票件数計 ※店舗	該当支払法人コードの 店舗コード[計上部署コード]毎の伝票 件数合計	数値	9		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
8 ②明細ち	ナマリ	請求金額合計	該当支払法人コードの 店コード[計上部署コード]毎の請求金 額合計	数値	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
9 ③絞込	条件	請求フラグ区分	以下から選択が可能 0:請求対象外 1:請求対象 2:両方	全角文字				選択	0		
10 ③絞込約	条件	出力状態	以下から選択が可能 0:未出力データ 1:出力済データ 2:全データ	全角文字				選択	0		
11 ③絞込	条件	計上日(左)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	選択			
12 ③絞込	条件	計上日(右)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	選択			
13 ③絞込	条件	社コード	支払法人コード	半角文字	13			選択			
14 ③絞込	条件	店舗	計上部署コード/ 計上部署名称カナ	半角文字/ 半角文字	13/20			選択			
15 ③絞込	条件	伝票番号(左)	取引番号	半角文字	10			入力/選択		半角数字のみ	
16 ③絞込	条件	伝票番号(右)	取引番号	半角文字	10			入力/選択		半角数字のみ	
				◆EDI請求ボ	タン押下間	寺◆					
17 ④請求・	一覧	出力状態	該当データの請求データ内容(出力状 態)を「0:未出力」「1:出力済」「2:再 出力済」で表示する	全角文字				不可			
18 ④請求・	一覧	データ区分	該当データのデータ内容(伝票種別) を「1:受領」「2:返品」で表示する	全角文字				不可			
19 ④請求	一覧	計上日	計上日	日付	8		YYYYMMDD	不可			
20 ④請求	一覧	伝票番号	取引番号	半角文字	10			不可			
21 ④請求	一覧	社コード	支払法人コード	半角文字	13			不可			
22 ④請求・	一覧	店舗コード	計上部署コード	半角文字	13			不可			
23 ④請求	一覧	店舗名称	計上部署名称カナ	半角文字	20			不可			
24 ④請求·	一覧	請求金額	請求金額	数值	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	入力	0	数値チェック	
				◆EDI外請求市	タン押下	時◆					
25 ④請求-	一覧	出力状態	該当データの請求データ内容(出力状 態)を「0:未出力」「1:出力済」「2:再 出力済」で表示する	全角文字				不可			
26 ④請求・	一覧	データ区分	該当データのデータ内容(伝票種別) を「1:受領」「2:返品」で表示する	全角文字				選択			

画面項	頁目内容										
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大档 整数	ī 数 小数	表示形式	形式	入 必須	、力 チェック	備考
27	④請求一覧	計上日	計上日	日付	8		YYYYMMDD	入力	0	日付チェック	
28	④請求一覧	伝票番号	取引番号	半角文字	7			入力	0		
29	④請求一覧	社コード	支払法人コード	半角文字	13			選択	0		
30	④請求一覧	請求金額	請求金額	数值	9		ZZZ,ZZZ,ZZ9	入力	0	数値チェック	



画面名 請求データ出力

画面操作方法

◆請求データファイルを出力する ①.選択項目の『社コード』から出力対象の社コードを選択します ②.入力項目の『支払日』を入力します(yyyyMMdd形式で入力) ③.出力場所(フォルダパス)を入力、もしくは『参照』ボタンから選択します ④.入力項目、出力場所の指定が終わったら、『出力』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名 請求データ出力	
機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	・当該画面を終了し、メインメニューに戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態
参照ボタン ※③出力ファイルパス	・「フォルダ選択」画面を表示し、入力/選択したフォルダパスを『出力場所』テキストボックスに自動的に入力します
	初期表示状態 ・押下可能な状態

機能名称	機能説明	
出力ボタン	・「②出力条件」「③入力項目」にて指定した条件で「④出力場所」テキストボックスにて指定した場所にファイル出力を行います	
※④出力処理開始	・出力ファイル名は定型で『Seikyudt』となります	
	・ファイル出力処理と同時に出力場所の保存を行います	
	次回、当該画面を開いた時に、『出力場所』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったフォルダパスを自動表示します	
	初期表示状態	
	・押下可能な状態	
画面名 請求 :	データ出力	
--------------------	----------------------	------------------------------------
表示/ファイル 出力対象データ	以下のデータをフ; ・請求予定作成	ァイル出力対象データとします 画面にて作成された請求予定データ
表示並び順	社コード ※②選択項目	支払法人コード(昇順)

画面	名	請求データ出力									
画面耳	画面項目内容										
No	表示。	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大権	<u>行数</u>	表示形式		<u>入</u>	<u>力</u>	備考
	クループ			<u> </u>	整数	小数	2013/10/20	形式	必須	チェック	MIN - 5
1	②選択項目	社コード	支払法人コード	半角文字	13			選択	0		作成されている請求データ の発注者コード/名称をリス
2	③入力項目		_	半角文字	8		yyyyMMdd	入力	0	日付チェック	<u>ト表示9</u> る データ内出力項目
3	④出力場所	出力場所		半角文字/ 全角文字	256			入力	0	存在チェック	出力先フォルダ

画面名 社マスタメンテ

|発注会社マスタの新規作成、変更、削除を行います

画面内容

画面レイアウト



画面名 社マスタメンテ

画面操作方法

◆社マスタを新規登録する

①.『社コード』、『社GLN』コンボボックスに該当の社コード、社GLNを入力します
 ②.『新規』ボタンを押下します
 ③.『保存』ボタンを押下し、新規登録を確定します

◆社マスタを変更する

①.『社コード』、『社GLN』コンボボックスに該当の社コード、社GLNを入力/選択します

②.『変更』ボタンを押下します

③.『保存』ボタンを押下し、変更を確定します

◆社マスタを削除する

①.『社コード』、『社GLN』コンボボックスに該当の社コード、社GLNを入力/選択します

②.『削除』ボタンを押下します

③.『保存』ボタンを押下し、削除を確定します

画面名 社マスタメンテ							
機能一覧							
機能名称	機能説明						
閉じるボタン ※①メニューボタン	・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります						
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態						
取消ボタン ※①メニューボタン ★F9ボタンで利用可能	・全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります ※データ編集中であった場合も、警告無しに全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります						
	初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』『削除』ボタンを押下すると『取消』ボタンが表示され、押下可能な状態になります						
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	 ★『新規』ボタン押下によって『保存』ボタンが表示されている時★ ・新規に入力されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります ★『変更』ボタン押下によって『保存』ボタンを表示した時★ ・変更されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります ★『削除』ボタン押下によって『保存』ボタンが表示されている時★ ・『発注者コード』コンボボックスで選択したデータを削除します ※削除後は初期画面に戻ります 						
	初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』『削除』ボタンを押下すると『保存』ボタンが表示され、押下可能な状態になります						
新規ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・『発注会社コード』、『発注会社GLN』コンボボックスに入力した「発注会社コード」「発注会社GLN」に該当するデータの新規作成を行います ※『新規』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可 ・『保存』ボタンを押下可能 ・『発注会社コード』、『発注会社GLN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「③設定情報」を入力可						
	初期表示状態 ・押下可能な状態						
変更ボタン ※①メニューボタン ★F3ボタンで利用可能	・『発注会社コード』、『発注会社GLN』コンボボックスに入力した「発注会社コード」「発注会社GLN」に該当するデータの変更を行います ※『変更』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可 ・『保存』ボタンを押下可能 ・『発注会社コード』、『発注会社GLN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「③設定情報」に対象データ表示、入力可						
	初期表示状態 ・押下可能な状態						

機能名称	機能説明
削除ボタン ※①メニューボタン ★F8ボタンで利用可能	・『発注会社コード』、『発注会社GLN』コンボボックスに入力した「発注会社コード」「発注会社GLN」に該当するデータの削除を行います ※『削除』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可 ・『保存』ボタンを押下可能 ・『発注会社コード』、『発注会社GLN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「③設定情報」に対象データ表示、入力不可
	初期表示状態 ・押下可能な状態
社コードコンボボックス 社GLNコンボボックス ※②社コード	・『社コード』、『社GLN』コンボボックスに値を入力/選択後、『新規』『変更』『削除』ボタンを押下することで、各処理を開始することができます ※コンボボックスは展開すると、常に登録済のデータが全て表示されます ◆コンボボックス絞込表示 ・『社コード』コンボボックスを選択すると、対応する"社GLN"が『社GLN』コンボボックスに表示されます ・『社GLN』コンボボックスを選択すると、対応する"社コード"が『社コード』コンボボックスに表示されます ※片方のコンボボックスに"0"を入力または選択した場合、もう片方のコンボボックスには対応するデータが存在しても自動的に表示されません
	初期表示状態 ・入力/選択可能な状態
設定情報 ※③設定情報	・『社コード』、『社GLN』コンボボックスに入力・選択した値に該当するデータを表示します
	初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態

画面名 社マス	画名 社マスタメンテ						
表示対象データ	当画面表示対象テ ・発注会社マス	「一タは以下のデータになります タ					
表示並び順	社コード ※②社コード	発注者コード(昇順)					
	社GLN ※②社コード	発注者GLN(昇順)					

画面	名	社マスタメンテ								
画面り	画面項目内容									
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数 整数 ↓小数	表示形式	│入力 │ 形式 │必須│ チェック	- 備考		
1	②発注者	社コード	発注者コード	半角数字	13		入力・選択 〇 半角数字のみ			
2	 ②発注者 	社GLN	発注者GLN	半角数字	13		入力・選択 〇 半角数字のみ			
3	③設定情報	社名称	発注者名称	全角文字	20		入力 〇 全角のみ			
4	③設定情報	社名称(カナ)	発注者名称カナ	半角文字	20		入力 〇 半角のみ			

画面名 利用会社マスタメンテ

|利用会社マスタの新規作成、変更、削除を行います

画面内容

画面レイアウト



画面操作方法

- ◆利用会社マスタの新規作成を行う
 - ①.新規作成する場合、『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに該当の請求取引先コード、請求取引先GLNを入力します ②.①で入力/選択した請求取引先コード、請求取引先GLNのデータを新規作成する場合は『新規』ボタンを押します
 - ③.『請求取引先名(漢字)』等の各項目を入力/訂正します

 ④.複数の取引先コードを登録する場合は、『複数取引先コード設定』ボタンを押すと、複数取引先コード設定画面が表示されるので、 取引先コード等を入力、入力後は『設定』ボタンで前画面に戻ります
 ⑤.『保存』ボタンを押すことで、新規登録を確定します

◆利用会社マスタの変更を行う

①.変更する場合、『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに対象とする請求取引先コード、請求取引先GLNを入力/選択します ②.①で入力/選択した請求取引先コード、請求取引先GLNのデータを変更する場合は『変更』ボタンを押下します

③.『請求取引先名(漢字)』等の各項目を入力/訂正します

 ④.複数の取引先コードを登録/変更する場合は、『複数取引先コード設定』ボタンを押すと、複数取引先コード設定画面が表示されるので、 取引先コード等を入力、入力後は『設定』ボタンで前画面に戻ります
 ⑤.『保存』ボタンを押すことで、変更を確定します

◆利用会社マスタの削除を行う

①.削除する場合は、『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに対象とする請求取引先コード、請求取引先GLNを入力/選択します
 ②.①で入力/選択した請求取引先コード、請求取引先GLNのデータを削除する場合は『削除』ボタンを押下します
 ③.『保存』ボタンを押すことで、削除を確定します

画面名 利用会社マスタメンテ

機能一覧							
機能名称	機能説明						
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	 ・マスタメンテナンス業務画面から遷移してきた場合、当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります ※データ設定中であった場合も、警告無しにマスタメンテナンス業務画面に戻ります ・初期導入ウィザード画面から遷移してきた場合、当該画面を終了し、初期導入ウィザード画面に戻ります ※データ設定中であった場合は、警告メッセージを表示します 						
	初期表示状態 ・ 押下可能の状態 						
取消ボタン ※①メニューボタン	・全ての処理を取り消し、警告無しで初期画面に戻ります						
★F9ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下不可の状態						
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	 ・新規/変更時は「②請求取引先情報」「③取引先一覧」に入力/変更したデータを保存します 削除時は『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスで選択したデータを削除します ・保存後は「②請求取引先情報」「③取引先一覧」をクリアし、初期画面に戻ります ・新規時、「③取引た一覧」で取引先コードラ」を設定しなかった場合、以下の値によって自動的に設定されます 取引先コード 『請求取引先コード』コンボボックスの値が設定されます 取引先コード 『請求取引先GLN』コンボボックスの値が設定されます 取引先名(漢字) : 『請求取引先名(漢字)』テキストボックスの値が設定されます 取引先名(方力) : 『請求取引先名(漢字)』テキストボックスの値が設定されます ・変更時は以下のように動作します ◆取引たコード「取引先コード」のつどが表取引先GLN=取引先GLN"の時、以下のように登録します 取引先名(注字) : 『請求取引先名(漢字)』テキストボックスの値が設定されます ・変更時は以下のように動作します ◆取引たコード=取引たコード"かつ"請求取引先GLN=取引先GLN"の時、以下のように登録します 取引先名(注字) : 『請求取引た名(漢字)』テキストボックスの値が設定されます * "請求取引先コード"かつ"請求取引先GLN=取引先GLN"でない時、以下のように登録します 取引先名(注字) : 複数取引たコード認定画面で入力した『取引先名(注字)』テキストボックスの値が設定されます ◆取引たコードが複数登録されている場合 複数取引先コード設定画面で入力した『取引先名(カナ)』テキストボックスの値が設定されます 						
	初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』『削除』ボタンを押下すると押下可能な状態になります						
新規ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに入力した「請求取引先コード」「請求取引先GLN」に該当するデータの新規作成を行います ・『新規』ボタン押下後、「②請求取引先情報」を入力/選択可能な状態、『複数取引先コード設定』ボタンを押下可能な状態にします ※『新規』『変更』『削除』ボタンは押下不可の状態に、『保存』ボタンは押下可能な状態になります						
	初期表示状態 ・マスタメンテナンス業務画面から遷移してきた場合、押下不可な状態 ・初期導入画面の『設定変更/削除』ボタンから遷移してきた場合、押下不可な状態 ・初期導入画面の『新規登録』ボタンから遷移してきた場合、押下可能な状態						

機能名称	機能説明
変更ボタン ※①メニューボタン ★F3ボタンで利用可能	・『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに入力/選択した「請求取引先コード」「請求取引先GLN」に該当するデータの変更を行います ・『変更』ボタン押下後、『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに表示されている「請求取引先コード」「請求取引先GLN」に 該当するデータを「②請求取引先情報」に表示し入力/選択可能な状態に、『複数取引先コード設定』ボタンを押下可能な状態にします ※『新規』『変更』『削除』ボタンは押下不可の状態に、『保存』ボタンは押下可能な状態になります
	初期表示状態 ・マスタメンテナンス業務画面から遷移してきた場合、押下可能な状態 ・初期導入画面の『設定変更/削除』ボタンから遷移してきた場合、押下可能な状態 ・初期導入画面の『新規登録』ボタンから遷移してきた場合、押下不可な状態
削除ボタン ※①メニューボタン ★F8ボタンで利用可能	・『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに入力した「請求取引先コード」「請求取引先GLN」に該当するデータの削除を行います ・『削除』ボタン押下後、「②請求取引先情報」を入力/選択不可な状態に、『複数取引先コード設定』ボタンを押下不可な状態にします ※『新規』『変更』『削除』ボタンは押下不可の状態に、『保存』ボタンは押下可能な状態になります
	初期表示状態 ・マスタメンテナンス業務画面から遷移してきた場合、押下不可な状態 ・初期導入画面の『設定変更/削除』ボタンから遷移してきた場合、押下可能な状態 ・初期導入画面の『新規登録』ボタンから遷移してきた場合、押下不可な状態
請求取引先コードコンボボックス ※②請求取引先情報	・『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに表示されている「請求取引先コード」「請求取引先GLN」に該当するデータが、 当画面での作成/変更/削除対象になります
	◆コンボボックス絞込 ・『請求取引先コード』コンボボックスを選択することで、『請求取引先GLN』コンボボックスを、選択した"請求取引先コード"で絞り込みます ・『請求取引先GLN』コンボボックスを選択することで、『請求取引先コード』コンボボックスを、選択した"請求取引先GLN"で絞り込みます ※既に入力、選択済みだった場合、入力、選択した値が絞り込んだ値になかった場合は、該当コンボボックスは空を選択した状態にします
	初期表示状態 ・マスタメンテナンス業務画面から遷移してきた場合、TOP画面の利用会社コンボボックスで選択したコードを表示し、入力/選択不可の状態にします ・初期導入画面の『設定変更/削除』ボタンから遷移してきた場合、TOP画面で利用会社コンボボックスで選択したコードを表示し、 入力/選択不可の状態にします ・初期導入画面の『新規登録』ボタンから遷移してきた場合、空表示し、入力/選択可能の状態になります
請求取引先情報入力欄 ※②請求取引先情報	・『請求取引先⊐ード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに表示されている「請求取引先⊐ード」「請求取引先GLN」に該当するデータを表示します ※新規作成時は、全ての項目が空の状態で表示されます
	初期表示状態 ・『新規』『変更』ボタンを押下した場合、入力/選択可能な状態になります ・『削除』ボタンを押下した場合、入力/選択不可な状態になります
複数取引先コード設定ボタン ※②請求取引先情報	・『複数取引先コード設定』ボタンを押下することで、「③取引先一覧」画面を表示することができます
	初期表示状態 ・『新規』『変更』ボタンを押下した場合、押下可能な状態になります ・『削除』ボタンを押下した場合、押下不可な状態になります

機能名称	機能説明
取引先コード一覧	・登録する取引先情報を、「取引先コードー覧」に直接入力します
※③取引先一覧	※必須項目は「取引先コード」「取引先GLN」になります
	※入力後に下行に移動、もしくは他オブジェクトにフォーカスを移した時点で入力は完了となります
	・フォーカスを動かしたタイミングで必須チェック等を行います
	全て未入力の行がある場合に『設定』ボタンを押した時も各種チェックエラー(必須エラー等)は発生します
	・該当行へ入力後に下キーを押すことで、下に空白行を追加します
	・入力した情報を削除する場合は、「取引先⊐ードー覧」内にある『削除』ボタンを押下します
	削除ボタンを押すことで、該当行が一覧から削除されます
	※全ての行を削除することはできません(最低1行は残します)
	★データの追加、削除が反映されるのは「①メニューボタン」の『保存』ボタンが押されたタイミンクになります
	・『新規』ボタンを押下した場合、以下のように2行表示します(下キーを押すことでデータの追加が可能です)
	★1行目★
	┃ 取引先コード : 『請求取引先コード』コンボボックスの値が設定されます
	取引先GLN :『請求取引先GLN』コンボボックスの値が設定されます
	取引先名(漢字) : 『請求取引先名(漢字)』テキストボックスの値が設定されます
	取引先名(カナ) : 『請求取引先名(カナ)』テキストボックスの値が設定されます
	※『請求取引先名(漢字)』『請求取引先名(カナ)』テキストボックスが空だった場合、『取引先名(漢字)』『取引先名(カナ)』は空で表示します
	一度取引先コードー覧画面を開いた場合、『請求取引先名(漢字)』『請求取引先名(カナ)』テキストボックスを入力後に、
	再度開き直しても、『取引先名(漢字)』『取引先名(カナ)』は自動的に表示されません(保存時には最新の値が登録されます)
	★2行目★
	全て空で入力可能な行うないで、「ない」の「ない」というでは、「ない」のないで、「ない」のないで、「ない」のないで、「ない」のないで、「ない」のないで、「ない」のないで、「ない」のないで、「ない」のないで、「ない」のないで、
	Ⅰ・『変更』ボタンを押下した場合は、登録されている取引先コード情報を表示します
	※最終行は全て空で入力可能な行になります
設定ボタン	・1 取引先コード一覧」で行った処理を保持し、前面自向に戻ります。
※③取引先一覧	※! 取り先コートー覧」で各種ナニックエラーが発生していた場合、エフーかなくなるまで、前画面に戻れません
	※空行かあった場合もチェックエラーか発生するため、則画面に戻れません
	初期表示:北能
	・相下可能な状態
取消ボタン/×ボタン	・「取引先コード一覧」で行った全ての処理を取り消し、前画面に戻ります
※③取引先一覧	※ 取引先コード一覧」で各種チェックエラーが発生していた場合も、全ての処理を取り消し、前画面に戻ります
	※データ設定中であった場合も、警告無しに前画面に戻ります
	・押下可能な状態

画面名 利用金	会社マスタメンテ	
表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・利用会社マスタ	
表示业ひ順	請水取り九コート 請水取り九コート(昇順)	
	※②請求取引先	
	請求取引先GLN 請求取引先GLN(昇順)	
	※②請求取引先	
	取引先コードー覧 取引先コード(昇順)	
	※③取引先一覧	

画面名	利用会社マスタメンテ

画面耳	」面項目内容										
Na	表示		まテロ宓(PMC項日夕)	刑	最大桁	ī数	キテジナ		入	. .,	供来
INO	グループ	ダイトル名	衣示内谷(BMS項日石)	<u> </u>	整数	小数	衣示形式	形式	必須	チェック	1佣 右
1	2請求取引先	請求取引先コード	請求取引先コード	半角数字	6			入力・選択	0	半角数字のみ	
2	2請求取引先	請求取引先GLN	請求取引先GLN	半角数字	1			入力・選択	0	半角数字のみ	
	新規作成/変更時。										
3	2請求取引先	請求取引先名(漢字)	請求取引先名(漢字)	全角文字	20			入力	0	全角のみ	
4	2請求取引先	請求取引先名(カナ)	請求取引先名(カナ)	半角英数/	20			入力	0	半角のみ	
	の詰ま版引生		CDDU送信书ID	十月川	6			7 +		半色粉字のな	
- 5	2间水11万			十円奴士	0			<u></u>	0	十円奴士のの	
6	③取引一覧	取引先コード	取引先コード	半角文字	6			入力	0	千円数子のみ	
7	③取引一覧	取引先GLN	取引先GLN	半角文字	1			入力	0	半角数字のみ	
8	③取引一覧	取引先名(漢字)	取引先名(漢字)	全角文字	20			入力		全角のみ	
9	③取引一覧	取引先名(カナ)	取引先名(カナ)	半角文字	20			入力		半角のみ	
10	③取引一覧	枝番	取引先枝番	半角文字	2			入力		半角数字のみ	
11	③取引一覧	出荷先コード	出荷先コード	半角文字	4			入力		半角数字のみ	
12	③取引一覧	担当者(漢字)	担当者(漢字)	全角文字	20			入力		全角のみ	
13	③取引一覧	担当者(カナ)	担当者(カナ)	半角文字	10			入力		半角のみ	
14	③取引一覧	TEL	電話番号	半角文字	13			入力		半角のみ	
15	③取引一覧	FAX	FAX	半角文字	13			入力		半角のみ	
16	③取引一覧	作成日	登録日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			
17	③取引一覧	更新日	更新日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			

	,我们就是我们的问题,我们就是我们的问题,我们就是我们的问题,我们就是我们的问题,我们就是我们的问题,我们就是我们的问题,我们就是我们的问题,我们就是我们就能能能 第1997年,我们就是我们的我们就是我们就是我们就是我们就是我们的我们就是我们的我们就是我们的我们就是我们的我们就是我们的我们就是我们的我们就是我们的我们就是我们									
18	②請求取引先	請求取引先名(漢字)	請求取引先名(漢字)	全角文字	20			不可		
19	2)請求取引先	請求取引先名(カナ)	請求取引先名(カナ)	半角英数/ 半角カナ	20			不可		
20	③取引一覧	取引先コード	取引先コード	半角文字	6			不可		
21	③取引一覧	取引先GLN	取引先GLN	半角文字	1			不可		
22	③取引一覧	取引先名(漢字)	取引先名(漢字)	全角文字	20			不可		
23	③取引一覧	取引先名(カナ)	取引先名(カナ)	半角文字	20			不可		
24	③取引一覧	枝番	取引先枝番	半角文字	2			不可		
25	③取引一覧	出荷先コード	出荷先コード	半角文字	4			不可		
26	③取引一覧	担当者(漢字)	担当者(漢字)	全角文字	20			不可		
27	③取引一覧	担当者(カナ)	担当者(カナ)	半角文字	10			不可		
28	③取引一覧	TEL	電話番号	半角文字	13			不可		
29	③取引一覧	FAX	FAX	半角文字	13			不可		
30	③取引一覧	作成日	登録日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可		
31	③取引一覧	更新日	更新日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可		

画面名 納品先マスター覧 |納品先マスタを一覧画面で確認、削除を行います |また、納品先マスタの新規作成、変更を行う画面へ遷移することもできます 画面内容 画面レイアウト _ [] × 🏫 納品先マスター覧 × 1 メニューボタン 10 1.... 新規/変更(F2) 削除(F8) 全印刷(F5) 全プレビュー(F6) 全選択(F10) 選択解除(F11) 閉じる(F12) _ ②マスター覧 店舗/センターコード 店舗/センターGLN 削除対象 種類 店舗/センター名(漢字) 店舗/センター名(カナ) Г 0001 0:店舗 小金井 コガネイ 0 Г 0 0:店舗 早稲田 ワセダ 0003 Г 0 0101 1:センター テストセンター1 テストセンター1 Г アキシマフッツリュウセンター 0801 0 1:センター 昭島物流センター Γ 1001 0 0:店舗 テスト店舗1 テストテンホ°1

画面名 納品先マスター覧

画面操作方法

- ◆納品先マスタの新規作成、変更を行う
 ①.『新規/変更』ボタンを押し、[納品先マスタメンテ]画面を表示します
 ②.表示された[納品先マスタメンテ]画面で新規登録、変更を行います
- ◆納品先マスタの削除を行う

①.削除対象の納品先マスタの「削除対象」チェックボックスにチェックを入れ、『削除』ボタンを押します

◆納品先マスタリストを印刷、プレビュー画面を参照する ①.『全印刷』、または『全プレビュー』ボタンを押します

画面名 🛛 🖌	ヨ品先マスター舅	冟
---------	----------	---

機能説明
・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります
初期表示状態 ・押下可能の状態
・[納品先マスタメンテ]画面を開きます ※新規/変更時は、チェックボックスのチェックは関係ありません 初期表示状態
「②マスター見」の『削除対象』チェックホックスにチェックから「られた納品マスタナータを、以下の書告メッセーン表示後に削除します 「削除対象にチェックされている納品マスタを削除します よろしいですか?」 「OK」選択 → 『削除対象』チェックボックスにチェックが付けられた納品マスタデータを削除します
「キャンセル」選択 ⇒ 何もせずに[納品マスター覧]画面に戻ります
・「②マスター覧」に表示されている全てのテータの『削除対象』チェックホックスにチェックを付けます ※既に全てのチェックボックスにチェックが付いている状態で押下しても、何も動作しません ※「②マスター覧」にスクロールバーが表示されている時、スクロールして表示ができる全てのデータにチェックが付けられます
初期表示状態 ・押下可能の状態
・「②マスター覧」に表示されている全てのデータの『削除対象』チェックボックスからチェックを外します ※既に全てのチェックボックスからチェックが外されている状態で押下しても、何も動作しません ※「②マスター覧」にスクロールバーが表示されている時、スクロール」で表示ができる全てのデータのチェックが外されます
 ・ 一 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
・「②マスター覧」に表示されている全てのデータを印刷対象として、「納品先マスタリスト」を印刷します ※印刷対象を絞り込んで印刷することはできません
初期表示状態 ・押下可能の状態

機能名称	機能説明
全プレビューボタン	・「②マスター覧」に表示されている全てのデータを印刷対象として、[プレビュー]画面を表示します
※①メニューボタン	※印刷対象を絞り込んで印刷することはできません
★F6ボタンで利用可能	
	初期表示状態
	・押下可能の状態
納品マスター覧	・納品先マスタデータを一覧表示します
※②マスター覧	※[納品先マスタメンテ]画面から戻ってきた時は、表示データを再読込して、最新のデータを表示します
	初期表示状態
	・登録済みデータがある場合は、データ表示した状態

画面名 納品分	たマスター覧 しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しん
表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・[納品先マスタメンテ]画面で作成した納品先マスタデータ ・[納品先マスタファイル入力]画面で入力した納品先マスタデータ
表示並び順	マスター覧 店舗/センターコード>店舗/センターGLN ※②マスター覧

	画面	名	納品先マスター覧]						
	画面項	頁目内容											
	No	表示	タイトルタ	表示内容(BMS項日名)	刑	最大棒	行数	表示形式		入	ታ	備老	
	NO	ク゛ルーフ゜	×1170-1	表示的各个BMO发出出/	- -	整数	小数	五小小八	形式	必須	チェック	L H C	
	1	②マスター覧	店舗/センターコード	納品先コード	半角文字	13			不可				
	2	②マスター覧	「店舗/センターGLN	納品先GLN	半角数字	13			不可				
	3	②マスター覧	種類	"0:店舗"、"1:センター"を表示	半角文字	1			不可			以下に従い表示 0:店舗 1:センター	
	4	②マスター覧	店舗/センター名(漢字)	納品先名称(漢字)	半角/全角文字	20			不可				
ſ	5	⑦マスター	店舗/ヤンター名(カナ)	納品先名称(力士)	半角文字	20			不可				

画面名 納品先マスタメンテ |納品先マスタの新規作成、変更を行います |納品先マスタファイル入力画面で入力した納品先マスタデータの変更も行うことができます 画面内容 画面レイアウト _ _ _ _ _ _ _ _ 🏔 納品先マスタメンテ ①メニューボタン H 1 取消(F9) 新規(F2) 変更(F3) 保存(F4) 閉じる(F12) ②店舗コード 1001 店舗/センターコード ¥. 0 店舗/センターGLN 4 ③設定情報 0:店舗 💌 種類 テスト店舗1 店舗/センター名(漢字) テストテンホ°1 店舗/センター名(カナ) 2015/12/24 15:04:24 更新日 2015/12/24 15:04:24 作成日 `~____

画面名 納品先マスタメンテ

画面操作方法

◆納品先マスタを新規作成をする
 ①.『店舗/センターコード』、『店舗/センターGLN』コンボボックスに該当の店舗/センターコード、店舗/センターGLNを入力します
 ②.『新規』ボタンを押し、『店舗/センター名(漢字)』等の各項目を入力します
 ③.『保存』ボタンを押下し、保存します

◆納品先マスタを変更する

①.『店舗/センターコード』、『店舗/センターGLN』コンボボックスに該当の店舗/センターコード、店舗/センターGLNを入力/選択します
 ②.『変更』ボタンを押し、『店舗/センター名(漢字)』等の各項目を変更します
 ③.『保存』ボタンを押下し、変更を保存します

画面名	納品先マスタメンテ	
機能一覧		
機能名称		機能説明
閉じるボタン ※①メニューボ ★F12ボタンで ⁵	タン 利用可能	 ・当該画面を終了し、[納品先マスター覧]画面に戻ります
		・押下可能の状態
取用ホタン ※①メニューボ ★F9ボタンで利	タン 月用可能	*** この処理を取り消し、初期画面に戻ります ※データ編集中であった場合も、警告無しに全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります
		初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』ボタンを押下すると『取消』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
保存ボタン ※①メニューボ ★F4ボタンで利	タン 用可能	★『新規』ボタン押下によって『保存』ボタンが表示されている時★ ・新規に入力されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります ★『変更』ボタン押下によって『保存』ボタンを表示した時時★ ・変更されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります
		初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』ボタンを押下すると『保存』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
新規ボタン ※①メニューボ ★F2ボタンで利	タン J用可能	・『店舗/センターコード』、『店舗/センターGLN』コンボボックスに入力した「店舗/センターコード」「店舗/センターGLN」に該当するデータの 新規作成を行います ※『新規』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』ボタンを押下不可 ・『保存』ボタンを押下可能 ・『店舗/センターコード』、『店舗/センターGLN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「③設定情報」を入力可
		初期表示状態 ・押下可能な状態
変更ボタン ※①メニューボ ★F3ボタンで利	ーボタン で利用可能	 ・『店舗/センターコード』、『店舗/センターGLN』コンボボックスに入力した「店舗/センターコード」「店舗/センターGLN」に該当するデータの 変更を行います ※『変更』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』ボタンを押下不可 ・『保存』ボタンを押下可能 ・『店舗/センターコード』、『店舗/センターGLN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「③設定情報」に対象データ表示、入力可
		初期表示状態 ・押下可能な状態

機能名称	機能説明
店舗/センターコードコンボボックス	・『店舗/センターコード』、『店舗/センターGLN』コンボボックスに値を入力/選択後、『新規』『変更』ボタンを押下することで、
店舗/センターGLNコンボボックス	各処理を開始することができます
※②種類/コード	
	★コンボボックス絞込
	・『店舗/センターコード』コンボボックスを選択することで、『店舗/センターGLN』コンボボックスを、選択した"店舗/センターコード"で絞り込みます ・『店舗/センターGLN』コンボボックスを選択することで、『店舗/センターコード』コンボボックスを、選択した"店舗/センターGLN"で絞り込みます ※既に入力、選択済みだった場合、入力、選択した値が絞り込んだ値になかった場合、該当コンボボックスは空を選択した状態にします
	初期表示状態
	・入力/選択可能な状態
設定情報 ※③設定情報	・『店舗/センターコード』、『店舗/センターGLN』コンボボックスに入力・選択した値に該当するデータを表示します
	初期表示状態
	・全項目データ非表示、入力不可の状態

画面名 納品会	先マスタメンテ	
表示対象データ	当画面表示対象ラ ・[納品先マスタ ・[納品先マスタ	["] 一タは以下のデータになります メンテ]画面で作成した納品先マスタデータ ファイル入力]画面で入力した納品先マスタデータ
表示並び順	店舗/センター	納品先コード(昇順)
	⊐−ド	
	※②店舗コード	
	店舗/センター	納品先GLN(昇順)
	GLN	
	※②店舗コード	
	種類	種類(昇順) ※「0:店舗」「1:センター」の順
	※③設定情報	

画面名 納品先マスタメンテ											
画面	面項目内容										
No	表示	タイトルタ		Ŧı	最大桁数		キードナ	入力			供去
NO	グルーフ゜	ノー・シー	衣尔内存(DMO填白石)	Ξ.	整数	小数	我小的八	形式	必須	チェック	17日 プラ
1	②店舗コード	店舗/センターコード	納品先コード	半角文字	13			入力・選択	0	半角数字のみ	
2	②店舗コード	店舗/センターGLN	納品先GLN	半角数字	13			入力・選択	0	半角数字のみ	
3	③設定情報	種類	"0:店舗"、"1:センター"を表示	半角数字	1			選択	0		以下に従い表示 0:店舗 1:センター
4	③設定情報	店舗/センター名(漢字)	納品先名称(漢字)	半角/全角文字	20			入力			
5	③設定情報	店舗/センター名(カナ)	納品先名称(カナ)	半角文字	20			入力	0	半角のみ	
6	③設定情報	作成日	登録日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			
7	③設定情報	更新日	更新日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			

-

画面名 商品マスター覧

画面レイアウト



画面名 商品マスター覧

画面操作方法

- ◆商品マスタの新規作成、変更を行う
 ①.『新規/変更』ボタンを押し、[商品マスタメンテ]画面を表示します
 ②.表示された[商品マスタメンテ]画面で新規登録、変更を行います
- ◆商品マスタの削除を行う

①.削除対象の商品マスタの「削除対象」チェックボックスにチェックを入れ、『削除』ボタンを押します

◆商品マスタリストを印刷、プレビュー画面を参照する ①.『全印刷』、または『全プレビュー』ボタンを押します

画面名	商品マスター	覧
-----	--------	---

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態
新規/変更ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・[商品マスタメンテ]画面を開きます ※新規/変更時は、チェックボックスのチェックは関係ありません
	初期表示状態 ・押下可能の状態
削除ボタン ※①メニューボタン ★F8ボタンで利用可能	・「②マスター覧」の『削除対象』チェックボックスにチェックが付けられた商品マスタデータを、以下の警告メッセージ表示後に削除します 「削除対象にチェックされている納品マスタを削除します よろしいですか?」 「OK」選択 ⇒ 『削除対象』チェックボックスにチェックが付けられた納品マスタデータを削除します 「キャンセル」選択 ⇒ 何もせずに[納品マスター覧]画面に戻ります
	初期表示状態 ・押下可能の状態
全選択ボタン ※①メニューボタン ★F10ボタンで利用可能	・「②マスター覧」に表示されている全てのデータの『削除対象』チェックボックスにチェックを付けます ※既に全てのチェックボックスにチェックが付いている状態で押下しても、何も動作しません ※「②マスター覧」にスクロールバーが表示されている時、スクロールして表示ができる全てのデータにチェックが付けられます
	初期表示状態 ・押下可能の状態
選択解除ボタン ※①メニューボタン ★F11ボタンで利用可能	・「②マスター覧」に表示されている全てのデータの『削除対象』チェックボックスからチェックを外します ※既に全てのチェックボックスからチェックが外されている状態で押下しても、何も動作しません ※「②マスター覧」にスクロールバーが表示されている時、スクロールして表示ができる全てのデータのチェックが外されます
	初期表示状態 ・押下可能の状態
全印刷ボタン ※①メニューボタン ★F5ボタンで利用可能	・「②マスター覧」に表示されている全てのデータを印刷対象として、「商品マスタリスト」を印刷します ※印刷対象を絞り込んで印刷することはできません
	初期表示状態 ・押下可能の状態
全プレビューボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・「②マスター覧」に表示されている全てのデータを印刷対象として、[プレビュー]画面を表示します ※印刷対象を絞り込んで印刷することはできません
	初期表示状態 ・押下可能の状態

機能名称	機能説明
商品マスター覧	・商品マスタデータを一覧表示します
※②マスター覧	※[商品マスタメンテ]画面から戻ってきた時は、表示データを再読込して、最新のデータを表示します
	・登録済みデータがある場合は、データ表示した状態

画面名 商品	マスター覧	
表示対象データ	当画面表示対象テ ・[商品マスタメ] ・[商品マスタフ	データは以下のデータになります ンテ]画面で作成した商品マスタデータ ァイル入力]画面で入力した商品マスタデータ
表示並び順	マスター覧 ※②マスター覧	商品コード

画面名 商品マスター覧											
画面耳	画面項目内容										
No	表示	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大格	ī数	表示形式	T ()		<u>ታ</u>	備考
	クルーフ				坐致	小致	2.1.2.1.2	形式	必須	チェック	
1	②マスター覧	登録区分	該当データの登録区分を「0:全共通」 「1:発注者指定」で表示する	半角文字	1			不可			以下に従い表示 0:全共通 1:発注者指定
2	2マスター覧	商品コード	商品コード(発注用)	半角文字	13			不可			
3	②マスター覧	DPTコード	規格(漢字)	半角文字	3			不可			
4	2マスター覧	取引先商品コード	商品コード(取引先)	半角文字	14			不可			
5	2マスター覧	商品名	商品名(漢字)	半角/全角文字	25			不可			
6	2マスター覧	原単価	原単価	数値	8	2	ZZ,ZZZ,ZZ9.99	不可			
7	2マスター覧	売単価	売単価	数值	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			

画面名 ┏	商品マスタメンテ]	
画面内容	商品マスタの新規作 商品マスタファイル入	成、変更を行います 、力画面で入力した商品マスタデー	タの変更も行うことができます	
画面レイアウ	`			
	● 商品マスタメンテ			】 】 ①メニューボタン
	取消(F9) 新規(F2) 交更	(F3) (保存(F4)	開いる(F12)	j
	商品コード/クラス	0000000116		 1 ②商品コード 1
		1109/EE70001100		②热宁桂報
	위 5 1 가다 1916 그 ~ 1~	1234007030123		
	商品名・型番・カラー	jショウビン1		
	DPT]K	401		
	原単価	300		

更新日

2016/02/05 14:41:03

2016/01/13 10:09:00

作成日

画面名 商品マスタメンテ

画面操作方法

- ◆商品マスタを新規作成をする
 - ①.『商品コード/クラス』コンボボックスに登録する商品コード/クラスを入力します
 - ②.『新規』ボタンを押下します
 - ③『商品名』等の各項目を入力します
 - ④『保存』ボタンを押下し、新規登録を確定します

◆商品マスタを変更する

- ①.『商品コード/クラス』コンボボックスから変更対象の商品コード/クラスを入力/選択します
- ②.『変更』ボタンを押下します
- ③.『商品名』等の各項目を入力/訂正します
- ④.『保存』ボタンを押下し、変更を確定します
| 画面名 商品マスタメンテ | |
|-------------------------------------|--|
| 機能一覧 | |
| 機能名称 | 機能説明 |
| 閉じるボタン
※①メニューボタン
★F12ボタンで利用可能 | ・当該画面を終了し、[商品マスター覧]画面に戻ります |
| | ・押下可能の状態 ・・ ・全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります ・全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります ・2 ・2 ・2 ・3 ・3 ・4 ・4 ・4 ・5 ・ |
| ※①メニューボタン
★F9ボタンで利用可能 | ※データ編集中であった場合も、警告無しに全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります |
| | ・押下不可の状態
※『新規』『変更』ボタンを押下すると『取消』ボタンが表示され、押下可能な状態になります |
| 保存ボタン
※①メニューボタン
★F4ボタンで利用可能 | ★『新規』ボタン押下によって『保存』ボタンが表示されている時★
・新規に入力されたデータを保存します
※保存後は初期画面に戻ります
★『変更』ボタン押下によって『保存』ボタンを表示した時★
・変更されたデータを保存します
※保存後は初期画面に戻ります |
| | 初期表示状態
・押下不可の状態
※『新規』『変更』ボタンを押下すると『保存』ボタンが表示され、押下可能な状態になります |
| 新規ホタン
※①メニューボタン
★F2ボタンで利用可能 | ・『商品コード/クラス』コンホホックスに入力した「商品コード/クラス」に該当するテータの新規作成を行います
※『新規』ボタン押下後、画面を下記の状態にします
・『新規』『変更』ボタンを押下不可、『保存』『取消』ボタンを押下可能
・『商品コード/クラス』コンボボックスを入力/選択不可
・「③設定情報」を入力可 |
| | 初期表示状態
・押下可能な状態 |
| 変更ボタン
※①メニューボタン
★F3ボタンで利用可能 | ・『商品コード/クラス』コンボボックスに入力した「商品コード/クラス」に該当するデータの変更を行います
※『変更』ボタン押下後、画面を下記の状態にします
・『新規』『変更』ボタンを押下不可、『保存』『取消』ボタンを押下可能
・『商品コード/クラス』コンボボックスを入力/選択不可
・「③設定情報」に対象データ表示、入力可 |
| | 初期表示状態
・押下可能な状態 |
| 設定情報
※③設定情報 | ・『商品コード/クラス』コンボボックスに入力・選択した値に該当するデータを表示します |
| | ・全項目データ非表示、入力不可の状態 |

画面名 商品、	マスタメンテ	
表示対象データ	当画面表示対象テ ・[商品マスタメ] ・[商品マスタフ	データは以下のデータになります ノテ]画面で作成した商品マスタデータ ァイル入力]画面で入力した商品マスタデータ
表示並び順	商品⊐ード ※②商品⊐ード	商品コード(昇順)

画面	名	商品マスタメンテ											
画面	画面項目内容												
No	表示	タイトルタ	まテ内容(PMS項日名)	刑	最大桁	ī数	キテジオ		入	.לב	供去		
NO	ク゛ルーフ゜	311704	衣小内谷(BM3項日石)	Ξ	整数	小数	公 小//)氏	形式	必須	チェック	開う		
1	②商品コード	商品コード/クラス	商品コード(発注用)	半角文字	14			入力/選択	0	半角数字のみ			
2	③設定情報	取引先商品コード	商品コード(取引先)	半角文字	14			入力		半角のみ			
3	③設定情報	商品名・型番・カラー	商品名	全角文字	25			入力	0	全角のみ			
4	③設定情報	DPTコード	規格(漢字)	半角文字	3			入力	0	半角数字のみ			
5	③設定情報	原単価	原単価	数値	8	2	ZZ,ZZZ,ZZ9.99	入力	0	数値のみ			
6	③設定情報	売単価	売単価	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	入力	0	数値のみ			
7	③設定情報	作成日	登结 日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD	조리					
	し設定情報	ТЕЛХЦ		口的/时刻	14		HH:MM:SS	카니					
	②設史情報	百光口	再 年 日	口合合	14		YYYY/MM/DD	조리					
	13 这些情報	文利日		口心小小学家	14		HH:MM:SS	1. H					

画面名 商品マスタファイル入力

|商品マスタデータの外部ファイル入力を行います

画面内容



画面操作方法

◆商品マスタデータをファイル入力する

①.入力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
 ②.入力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します
 ③.ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『入力処理開始』ボタンを押すことでファイル入力が開始されます

画面名 商品マスタファイル入力

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル入力処理を行います ・ファイル入力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、該当画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル入力処理を行ったファイル形式を自動選択します
	初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
入力ファイルパス ※③入力ファイルパス	・入力ファイルパスを入力します ※ファイルパスは絶対パスで入力してください ・ファイル入力処理と同時に入力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『入力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル入力処理を行ったファイルパスを自動表示します
	初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※③入力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『入力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します
	初期表示状態 ・押下可能な状態
入力処理開始ボタン ※④入力処理開始	・「②ファイル形式」「③入力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル入力を行います ・ファイル入力処理と同時にファイル形式、入力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「③入力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル入力時の状態にします
	初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名 商品	マスタファイル入力			
ファイル入力 対象データ	ファイル入力対象 ⁻ ・新規商品マス ※ファイル入力は」 商品コード/クラ ◆「新規商品マスタ ・キー項目が全て- キー項目が全て-	データは以下になります タデータ 以下の項目をキーとして用います っ マ マチータ」「取込済み商品マスタデー つ致するデータが存在しない入力デー つ致するデータが存在する入力デー	ータ」の判断について◆ データに関しては"新規商品マスタデータ" ⁻ ータに関しては"取込済み商品マスタデー	、 タと判断します
表示並び順				

画面	百名	商品マスタファイル入力											
画面	画面項目内容												
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大梢 整数	ī数 小数	表示形式		入 必須	.カ チェック	備考		
	1 ③入力ファイ ルパス	入力ファイルパス		半角/全角文字	256			入力					

画面名 納品先マスタファイル入力

|納品先マスタデータの外部ファイル入力を行います

画面内容



画面名 納品先マスタファイル入力

画面操作方法

◆納品先マスタデータをファイル入力する

 ①.入力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
 ②.入力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します
 ③.ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『入力処理開始』ボタンを押すことでファイル入力が開始されます

画面名 納品先マスタファイル入力

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル入力処理を行います ・ファイル入力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、該当画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル入力処理を行ったファイル形式を自動選択します
	初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
入力ファイルパス ※③入力ファイルパス	・入力ファイルパスを入力します ※ファイルパスは絶対パスで入力してください ・ファイル入力処理と同時に入力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『入力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル入力処理を行ったファイルパスを自動表示します
	初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※③入力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『入力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します
	初期表示状態 ・押下可能な状態
入力処理開始ボタン ※④入力処理開始	・「②ファイル形式」「③入力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル入力を行います ・ファイル入力処理と同時に入力ファイルパスの記憶を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「③入力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル入力時の状態にします
	初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名 納品分	先マスタファイル入さ	ታ			
ファイル入力 対象データ	ファイル入力対象 ・新規納品先マ ※ファイル入力は」 チェーンコード、 ◆「新規納品先マズ ・キー項目が全て・ キー項目が全て・	データは以下になります スタデータ 以下の項目をキーとして用います 納品先コード、納品先GLN スタデータ」「取込済み納品先マスタ ー致するデータが存在しない入力デ ー致するデータが存在する入力デ	- 、タデータ」の判断について◆ 」データに関しては"新規納品先マス データに関しては"取込済み納品先マ	タデータ"、 マスタデータと判断します	
表示並び順					

画面	百名	納品先マスタファイル入力											
画面	画面項目内容												
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大样 整数	疗数 ┃小数	表示形式		入 必須	.力 チェック	備考		
	1 ③入力ファイ ルパス	入力ファイルパス		半角/全角文字	256			入力	0				

画面名 商品マスタファイル出力

|商品マスタデータの外部ファイル出力を行います

画面内容



画面操作方法

◆商品マスタデータをファイル出力する

 ①.出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
 ②.出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
 ③.ファイル形式、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名 商品マスタファイル出力

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン	・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・ 押下可能の状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル出力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、該当画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します
	初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
出力ファイルパス ※③出力ファイルパス	・「②ファイル形式」『出力ファイルパス』テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します
	初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※③出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します
	初期表示状態 ・押下可能な状態
出力開始ボタン ※④出力処理開始	・「②ファイル形式」「③出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「③出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします
	初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名 商品、	画面名 商品マスタファイル出力										
表示/ファイル 出力対象データ	ファイル出力対象 ・[商品マスタメ] ・[商品マスタフ	よ以下のデータになります レテ]画面にて作成した商品マスタデータ ァイル入力画面]にて入力した商品マスタデータ									
表示並び順											

画面	名	商品マスタファイル出	<u>ታ</u>										
面面	画面項目内容												
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大相 整数	行数 小数	表示形式	形式	入 必須	.カ チェック	備考		
1	④出力ファイ ルパス	出力ファイルパス		半角/全角文字	256			入力					

画面名 納品先マスタファイル出力

|納品先マスタデータの外部ファイル出力を行います

画面内容



画面名 納品先マスタファイル出力

画面操作方法

◆納品先マスタデータをファイル出力する

 ①.出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
 ②.出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
 ③.ファイル形式、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名 納品先マスタファイル出力

機能一覧							
機能名称	機能説明						
閉じるボタン ※①メニューボタン	 ・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります 						
★F12ボタンで利用可能	初期表示状態 ・押下可能の状態						
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル出力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、該当画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します						
	初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態						
出力ファイルパス ※③出力ファイルパス	・「②ファイル形式」『出カファイルパス』テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します						
	初期表示状態 ・入力可能な状態 						
参照ボタン ※③出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します 						
	初期表示状態 ・押下可能な状態 -						
出力開始ボタン ※④出力処理開始	・「②ファイル形式」「③出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「③出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします						
	初期表示状態 ・押下可能な状態 						

画面名 納品先マスタファイル出力								
表示/ファイル 出力対象データ ・[納品先マスタメンテ]画面にて作成した納品先マスタデータ ・[納品先マスタファイル入力画面]にて入力した納品先マスタデータ								
表示並び順								

画面名 納品先マスタファイル出力													
画面	画面項目内容												
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大档 整数	最大桁数 表示形式 整数 小数		入力 ────────────────────────────────			備考		
1	④出力ファイ ルパス	出力ファイルパス		半角/全角文字	256			入力	0				